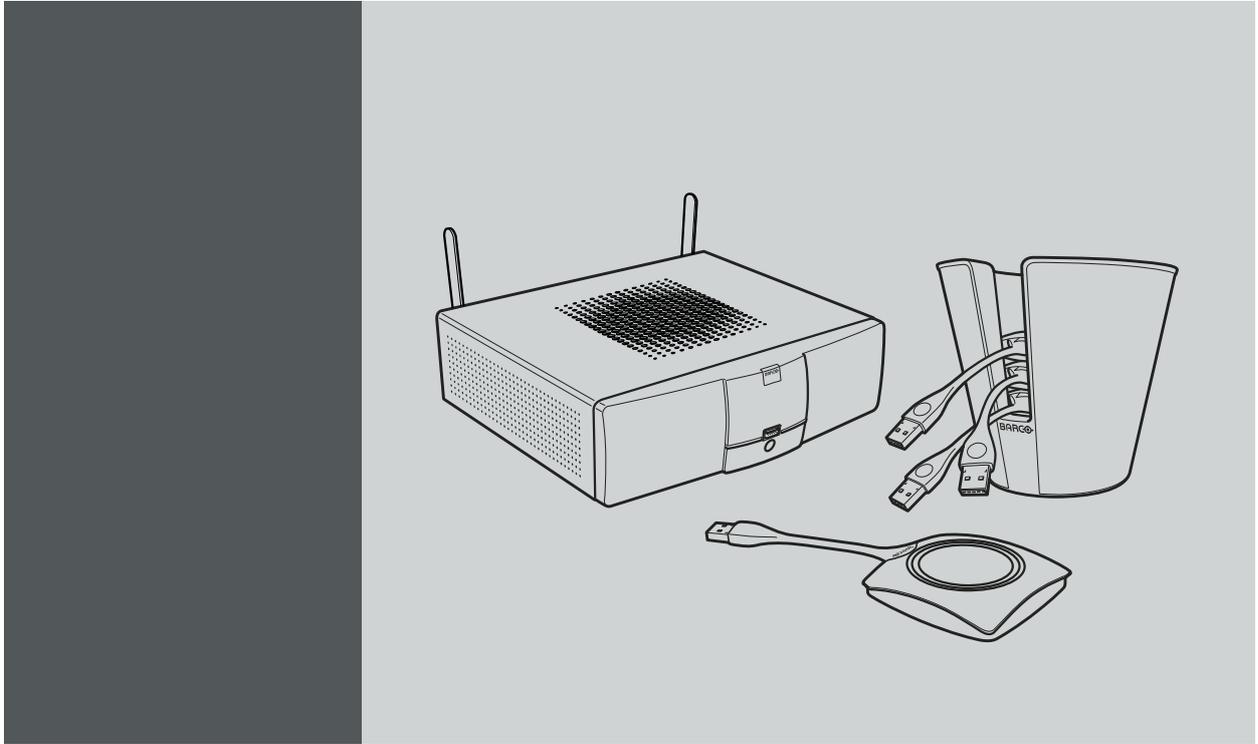


# ClickShare



## ユーザーガイド

**Barco NV**

President Kennedypark 35, 8500 Kortrijk, Belgium

Tel: +32 56.23.32.11

Fax: +32 56.26.22.62

サポート: [www.barco.com/en/support](http://www.barco.com/en/support)

Barco Webサイト: [www.barco.com](http://www.barco.com)

## ClickShareを日本にてご購入されたお客様へ ご注意事項のご案内

株式会社 内田洋行

### C S Cユーザーガイド CSC-1\_R5900001JA\_07

- p.6およびp.17-18に記載されております、ClickShare Linkは日本では販売しておりません。
- P.16に記載されておりますBarco キットB5606021は日本では販売しておりません。

## 変更点

Barco は、このマニュアルを「現状のまま」で提供し、暗黙的保証または特定の目的に対する商業性および適合性を含むがそれに限定されない、明示的または暗黙的に、いかなる保証も適用されません。Barco は、この出版物に記述されている製品やプログラムに対する改良や変更を事前通知なしでいつでも実施できます。

この出版物には、技術的な誤りや誤植が含まれている可能性があります。この出版物への変更は定期的に行われます。このようの変更は新版に組み込まれます。

Barco マニュアルの最新版は、Barco ウェブ サイト [www.barco.com](http://www.barco.com) または安全な Barco ウェブ サイト <https://www.barco.com/en/signin> からダウンロードできます。

## 日本語バージョン Copyright ©著作権 All rights reserved.

無断転載を禁じます。本マニュアル各部の複写、複製、翻訳は一切認められません。Barco (バルコ社) の書面による許可を事前に受けることなく、検索システムに記録、転送、または記憶させることはできません。

## Barco ClickShare エンドユーザーライセンス契約 (EULA/ソフトウェアライセンス)

本文書には BARCO の提供するソフトウェアライセンスの条件が記載されていますので、BARCO がお客様へ提供するソフトウェアまたはハードウェアを開いたりダウンロードして使用する前に注意してお読みください。ソフトウェアパッケージを開くか、本ソフトウェアが組み込まれているハードウェアを使用すると、本契約書の条項に従うことに同意したものと見なされます。

BARCO が提供する本ソフトウェアは、お客様に販売するのではなく、本ライセンスの条件の下での使用のみを非排他的に許可するライセンスを供与するものであり、お客様に明示的に付与されないすべての権利は BARCO が所有するものとします。お客様は本ソフトウェアが提供されるキャリアを所有できませんが、本ソフトウェアおよびその著作権は BARCO または第三者供給業者が所有するものとします。お客様のライセンスは権原や所有権を授与するものではなく、本ソフトウェアまたはそのドキュメント内の一切の権利を販売するものではありません。

本ソフトウェアの最初のバージョン、または前バージョンのアップグレード、アップデート、パッチ、または改良版をインストール、実行、および/または使用することにより、本ソフトウェアライセンスの内容に関して Barco とお客様との間で以前同意された一切の条件 (書面による、よらないを問わず) に本ソフトウェアライセンスが優先するものとし、かかる以前の条件は、本ライセンスに記載された日より一切の効力を失うものとします。ただし、本ソフトウェアライセンスは、いずれかの当事者が以前同意された一切の条件が定める義務のいずれかを遂行しなかった場合について、以前同意された条件が定める一切の権利または救済手段を放棄、放免、または棄権すると解釈しないものとします。

### ソフトウェアの仕様

本ソフトウェアには、以下のソフトウェア製品が含まれます。ClickShare

### ソフトウェアライセンスの条件

1. 本ソフトウェアライセンスは、お客様とベルギー法の下に組織および存在する法人である BARCO NV (Commercial Companies' Register of Kortrijk 登録番号 BE 0473.191.041、登録拠点住所 President Kennedypark, 35 at B-8500 Kortrijk, Belgium、以下「Barco」) との間で、本ソフトウェアの使用について締結されます。本ライセンスにより、お客様は、本ソフトウェアが読み込まれた/インストールされたコンピューターデバイスの、お客様により認定されたユーザー (以下「認定ユーザー」) 全員に、本ソフトウェアライセンスの条件を通知すること、および認定ユーザー全員に本ソフトウェアライセンスのかかる条件すべての受諾を必要に応じて義務付けることを約束します。
2. Barco は、制限付き、非排他的、譲渡不可、移転不可のユーザーライセンス (サブライセンスを付与する権利なし) をお客様に付与します。お客様および Barco 間で別途特に同意されている場合、および本ソフトウェア自体 (またはその DRM 管理) により特に許可されている場合を除き、i) 本ソフトウェアライセンスによるライセンスは、1 台のコンピューターデバイスで使用する本ソフトウェアの 1 コピーに適用され、ii) 複数のユーザーが同時にアクセスできるコンピューターデバイスにインストールされている場合は使用を許可せず、本ソフトウェアが使用されているコンピューターデバイスに接続しているアクティブなユーザーそれぞれに対して別々のライセンスが必要になるものとします。  
お客様および認定ユーザーは、本ソフトウェアライセンス (および説明書) に記載されている目的および方法で本ソフトウェアを使用する資格が与えられますが、お客様も一切の認定ユーザーも (i) いかなる方法でも本ソフトウェアの担保権を他者に販売または付与する、または Barco の明示的な書面による事前の承認なく本ソフトウェアを他者に賃貸したり、賃貸契約を締結したり、サブライセンスを付与する、あるいは (ii) 本ソフトウェアまたはその一切のコンポーネントを、お客様および/または本ソフトウェアの認定ユーザーによる使用以外、商業目的で利用する資格は与えられません。  
法律または本ソフトウェアライセンスで許可されている場合を除き、お客様も一切の認定ユーザーも、Barco の書面による事前の承認なく、その全部または一部に関わらず、本ソフトウェアに基づく二次的著作物を複製、翻訳、リバースエンジニアリング、そのソースコードを抽出、変更、デイスアセンブル、デコンパイル、および作成したり、本ソフトウェア上の一切の所有権通知やラベルを取り除くことはできません。

3. Barco (および必要に応じて Barco のライセンサー) は、本ソフトウェアおよびお客様または一切の認定ユーザーがかかるソフトウェアから作成した一切のコピーのすべての知的財産権の所有権を保持します。ソフトウェアは、国内著作権法、国際著作権条約および協定、その他の適用法により保護されています。本ソフトウェアライセンスでお客様に明示的にライセンスが付与されていない権利は、必要に応じて、すべて Barco および Barco のライセンサーが保有します。本ソフトウェアにはライセンスが付与されたその他のマテリアルが含まれており、本ソフトウェアライセンスに対する違反が発生した場合には、Barco のライセンサーがその権利を保護する場合があります。
4. Barco は、本ソフトウェアライセンスにより許可されている本ソフトウェアをインストールできるライセンスおよび権利により、かかる第三者の一切の特許、商標、または著作権の侵害行為または侵害行為の容疑に起因する直接的な損害、損失、および費用に対してお客様を無害に保ち、弁護および補償し、そこから生じた終局判決または調停で裁定された金額を同社の出費で決済します。ただし、(i) お客様は、お客様に対するクレームが主張された後、または一切のクレーム、訴え、訴訟、または訴訟手続きの開始後 (いずれか早い方)、直ちに書面により Barco に通知すること、(ii) Barco は、一切のクレーム、訴え、訴訟、または訴訟手続きに関する弁護および一切の調停交渉について単独で統制することが許可されていること、および (iii) お客様は、Barco の書面による事前の承認なく、一切のクレーム、訴え、訴訟、または訴訟手続きの交渉、示談、または和解を行わないこと、および (iv) お客様は、一切のクレーム、訴え、訴訟、または訴訟手続きに関する弁護および一切の調停交渉について、Barco による合理的な要求に応じて、お客様の出費で、Barco に協力して援助や支援を提供することを条件とします。Barco は、(i) お客様が提供する仕様、図面、モデル、またはその他のデータに基づく、または (ii) Barco が提供していない、または (iii) 本ソフトウェアの変更が禁止されているにも関わらず変更された、または (iv) その侵害を回避する修正行為が提示されたあと、お客様がその侵害行為を継続する限り、または (v) 本ソフトウェア、または本ソフトウェア以外のソフトウェア、プロセス、またはマテリアルとの組み合わせ、あるいはその分配がその侵害行為の主要原因である場合、一切のソフトウェアまたはその一切の部分に対して、賠償義務を負わないものとします。Barco がかかる第三者の権利を侵害または悪用したという判決が最終的に下された場合か、それ以前に、Barco は、同社の裁量により、同社の判断および費用負担で、(i) 同社が第三者の権利を侵害または悪用しない方法で本ソフトウェアを変更する、または (ii) お客様のために侵害されたとされる権利を使用するためのライセンスまたはその他権利を入手する、または (iii) 問題のソフトウェアを侵害しないソフトウェアと交換することがあります。本段落に明記されている救済措置は、第三者の知的財産権のいずれかを本ソフトウェアが侵害または悪用しているという第三者のクレームに対する、お客様の唯一かつ排他的な救済措置および Barco の唯一かつ排他的な法的責任を規定するものとします。
5. 本ソフトウェアライセンスの有効期間は、お客様の本ソフトウェア受諾日 (上記の日付)。本ソフトウェアを使用することで受諾することが暗示されることをお客様が承認する) から開始し、別途指定がない限り、終了日は設定されないものとします。お客様は、お手元の本ソフトウェアのコピーをすべて破壊し、すべての関連資料および説明書をその販売元または供給元である Barco または Barco 指定リセラーに返却することにより、本ソフトウェアライセンスをいつでも終了できます。お客様および/またはいずれかの認定ユーザーがソフトウェアライセンスの条件のいずれかに違反した場合、Barco は、いつでもお客様に通知することにより、本ソフトウェアライセンスを即刻終了できます。
6. お客様は、ソフトウェアがお客様に「現状のまま」提供されていることを理解します。BARCO は、明示的または暗示的に関わらず、一切保証や表明したり、それを意図せず、特定目的の市販性と適合性、および知的財産の非侵害について暗示されたすべての保証を特に放棄し、本ソフトウェアにエラーがないことや BARCO がかかるエラーを修正することを保証しません。かかるエラーが原因で発生した調整、修理、または損害に関連するすべての費用および出費については、お客様が一切責任を負担するものとします。

**またお客様は以下も承認および同意するものとします：**

BARCO は、お客様がソフトウェアを使用したことによりお客様または一切の第三者が被る一切の破損、損失、クレームに対する一切の法的責任を負いません。BARCO の法的責任を排除できない法管轄区内では、直接的な破損に対する BARCO の法的責任を総額 250 ユーロ (または、それ以上の除外が法的に許可されない場合は法律に違反しない範囲) に制限するものとします。法律に違反しない範囲で、いかなる場合も、BARCO は、ソフトウェア、本ソフトウェアライセンス、あるいは BARCO が本ソフトウェアライセンスに基づく義務を遂行したことまたは遂行したとされることまたは遂行しなかったことから、あるいはそれらに関連して発生するあらゆる種類の間接的、特殊、懲戒的、偶発的、または必然的な損失や損害、もしくは経済的損失、事業、契約、データ、信用、利益、売上、収益、評価の損失または損害、もしくは業務を停止しなければならないこと、コンピューターの不具合、またはソフトウェアの機能不全から生じる損失およびソフトウェアの使用に関連して生じることのある、ありとあらゆるその他の商業的損害や損失に対して、BARCO がその発生の可能性について忠告されていた場合でも、一切法的責任を負いません。

お客様は、ここに、BARCO および BARCO の関連会社および子会社を、お客様による本ソフトウェアライセンスの条項違反により、あるいはそれに関連して生じ BARCO が受けるまたは被る、ありとあらゆる訴訟、訴訟手続き、法的責任、損失、損害、手数料や費用 (弁護士料を含む)、およびその他の出費から、またはそれらに対して保護すること、保護し続けること、および無害に保つことに同意するものとします。
7. 本第 7 段落が本ソフトウェアライセンスに結び付く交渉の開始以前にお客様が正当に所有している、すでに公知であるか将来的に公知となる (本第 7 段落の違反による場合を除く)、法律により開示することが義務付けられている、あるいは自明または明白な情報に適用されないことを条件として、お客様は、本ソフトウェアライセンスに従う他者から入手する情報のうち、「マル秘」またはそれに類する印が付いているか、秘密にする必要のあるすべての情報を秘密扱いとするものとし、Barco の書面による事前の承認なく、かかる情報をいかなる者にも漏えいしないものとします。お客様は、本第 7 段落の規定を順守することを認識および保証するものとします。秘密性についての上述の義務は、本ソフトウェアライセンスが終了しても継続するものとします。
8. ハードウェア、オペレーティングシステム、ネットワーク機能のメンテナンス、およびお使いのシステムにウイルスが侵入しないようにすることに対する責任は、引き続きお客様にあります。お客様には、本ソフトウェアが複雑なコンピューターソフトウェアアプリケーションであること、そのパフォーマンスはハードウェアプラットフォーム、ソフトウェアの相互作用および構成により異なることがあることを承認していただきます。お客様は、ソフトウェアがお客様の具体的な要件や期待を満たすために特別に設計、制作されたものではなく、お客様がソフトウェアを選択したのは、一切お客様自身の選択および決定であることを承認するものとします。誤解を避けるため、本ソフトウェアライセンスの内容は、Barco にサポートサービス (ソフトウェアまたはその他のハードウェアやソフトウェア製品について) を提供する義務を一切強要するものではないものとします。

9. 本ソフトウェアライセンスは、お客様および/または認定ユーザーによるソフトウェアの使用に対する、お客様と Barco 間の唯一の了解および合意です。ソフトウェアライセンスは、本ソフトウェアライセンス以前に交わされたその他あらゆるコミュニケーション、了解、または合意(継続的な秘密性に関する合意を除く)に優先しますが、本ソフトウェアライセンスの内容は悪意不実表示に対する法的責任の除外を主張するものではありません。お客様は、あらゆる適用法または規則に違反して、ソフトウェアあるいは一切のコピーや改作版を輸出および再輸出できません。本ソフトウェアライセンスは、改ざん、修正、変更しないものとします。本ソフトウェアライセンスのいずれかの条項が、違法、無効、または執行不能であることが判明した場合またはいずれかの管轄裁判所が一切の最終判決においてそのように判断した場合、本ソフトウェアライセンスは、かかる条項が、かかる判決日以降あるいはその日以前に、削除して法律により受諾可能で本ソフトウェアライセンスの意図を可能な限り具体化する条項に置き換えるべきであるとされた場合を除き、引き続き有効であるものとします。
10. お客様は、本ソフトウェアが米国または他国政府の輸入管轄の対象となる場合があることを承認するものとします。お客様は、米国または他国政府が発表した米国輸出監督規制、エンドユーザー、使用、出荷先規制を含む、本ソフトウェアに適用されるすべての国際法および国内法に順守することに同意します。
11. Barco は、ここに記載された Barco の義務のすべてあるいはいずれかを第三者および/または Barco 関連会社のいずれかと下請け契約する権利を有するものとします。
12. 本ソフトウェアライセンスの解釈、有効性、および履行は、あらゆる点で、ベルギー法により抵触法の原則に頼ることなく統治されるものとします。本ソフトウェアライセンスから、またはそれに影響を与える手段により発生したすべての論争は、コルトレイク裁判所専属管轄の対象となり、その判決または命令の執行方法はその他一切の管轄区域で害されないものとします。「国際物品売買契約に関する国際連合条約(以下「条約」)は本ソフトウェアライセンスには適用されませんが、管轄する法廷により条約が本ソフトウェアライセンスに適用されると見なされた場合でも、Barco は、条約の第 35(2) 項に基づく本ソフトウェアの主張された不適合に対する法的責任を一切負わないものとします。

### 商標ソフトウェアライセンスの条件

本ソフトウェアに関して紹介されているブランドや製品名は、それぞれの所有者に帰属する商標、登録商標、著作権である場合があります。本ソフトウェアに関して紹介されているかかるブランドや製品名は、すべて説明や例として引用されており、製品やそれぞれのメーカーを宣伝するものとして理解されないものとします。

### プライバシーポリシー

お客様は、本ソフトウェアが本ソフトウェア関連製品の機能性に関する技術情報(以下「機能情報」)を収集すること、および Barco がかかる機能情報(一切の個人データを除く)を Barco が適切であると判断した一切の理由(お客様/貴社へのサービス提供、かかる機能情報へのアクセスおよび/またはお客様/貴社へのサービス提供を第三者に許可することを含むがそれに限定されない)により使用する可能性があることを承認および同意するものとします。

お客様は、ここに、Barco がお客様から当社に提供された個人データ(機能情報の収集を許可するというお客様の言明に関するデータ、およびその言明に関連する一切のコンテンツ)、さらにソフトウェアの使用により当社がお客様から受け取った個人情報を収集、アクセス、保存、および/または開示することを明示的に承諾するものとします:

- Barco および/またはその関連会社のビジネス目的のため。
- 本ソフトウェアを提供、維持、保護、および/または改良するため、および新しいソフトウェアを開発するため。
- お客様、貴社、Barco および/またはその関連会社間の関係を管理するため。
- その他一切の正当な目的(i) Barco、その関連会社、または厳選された第三者からのダイレクトマーケティング、および(ii) 第三者が本ソフトウェアに関するサービスをお客様に提供する許可を与えることを含む)のため。
- 以下を行うことが法律により義務付けられている場合、またはかかるアクセス、保存、または開示が以下を行うために必要であると誠実に考えられる場合:
  - 一切の適用法、規則、法的手続き、法的強制力のある政府からの要求への応答。
  - 潜在的な違反の調査を含む、本ソフトウェアライセンスの履行。
  - 不正行為、セキュリティまたは技術上の問題の検知、防止、その他の対処。
  - 法律により義務付けられている、または許可されている場合、Barco、そのユーザー、または公衆の権利、財産、または安全への差し迫った損害に対する保護。

Barco は、医療情報を含むがそれに限定されない「秘密情報」を一切処理しないものとします。

お客様は、お客様のコンテンツを含む本ソフトウェアのまたは本ソフトウェアによる技術的処理および送信には以下が含まれることを理解するものとします:

- さまざまなネットワークを介した送信。
- 接続しているネットワーク、デバイス、および/またはサービスの技術要件に従って適応するための変更。

お客様は、ここに、Barco がお客様の個人データを世界のいずれかの国(特に、Barco および/またはその関連会社が個人データ処理用インフラストラクチャーを有する国、または第三者が Barco および/またはその関連会社に個人データ処理用インフラストラクチャーを提供している国)に輸出することがあることを明示的に承認するものとします。

Barco は、現地の EU 加盟国で施行されている通り、個人データの処理およびかかるデータの自由な移動における個人保護について EU 指令 95/46/EC に完全準拠します。これらの規則に従って、お客様にはお客様の個人データにアクセスし、データを訂正する権利があります。これらの権利の行使をご希望の場合は、Barco までご連絡ください。

### オープンソースソフトウェア条項:

本製品には、オープンソースライセンスでリリースされているソフトウェアコンポーネントが含まれています。ソースコードのコピーは、Barco カスタマーサポート担当者にリクエストすることで入手可能です。

各オープンソースのソフトウェアコンポーネントおよび関連する説明書のすべては、暗示的な商業上の可能性の保証、特定用途に対する適合性を含む、しかしそれに限定されない、明示的または黙示的な保証を一切しない「現状のまま」で提供されています。いかなる場合も、そのような損失の可能性が忠告されていた場合でも、原因の如何を問わず、またこのオープンソースソフトウェアを使用することにより生じた規約、無過失責任、または不法行為の一切の法理に基づき、著作権所有者またはその他の貢献者は、直接的、偶発的、間接的な損失の責任を負わないものとします。詳細情報は、それぞれ特定のオープンソースのライセンスを参照してください。

各オープンソースのソフトウェアコンポーネントの著作権は、ドキュメンテーション、ソースコード、READMEファイルなどで示される場合があるように、最初の著作権所有者、他の貢献者、および/または受託者に属します。これらの著作権を削除、隠ぺい、いかなる形式でも変更することはできません。

各オープンソースソフトウェアライセンスの条件に従うことを認識しているものとします。

本ソフトウェアの開発時点では、以下のオープンソースソフトウェアがコンポーネントとして使用されています (最新リストは Barco ウェブサイトのお客様セクションまたはその他のオンライン媒体をご覧ください):

オープンソースコンポーネント	オープンソースライセンス
alsa-lib	<a href="http://www.gnu.org/licenses/gpl.html">http://www.gnu.org/licenses/gpl.html</a> <a href="http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html">http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html</a>
alsa-utils	<a href="http://www.gnu.org/licenses/gpl.html">http://www.gnu.org/licenses/gpl.html</a> <a href="http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html">http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html</a>
alsa-plugins	<a href="http://www.gnu.org/licenses/gpl.html">http://www.gnu.org/licenses/gpl.html</a> <a href="http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html">http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html</a>
pulseaudio	<a href="http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html">http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html</a>
busybox	<a href="http://opensource.org/licenses/GPL-2.0">http://opensource.org/licenses/GPL-2.0</a>
dropbear	<a href="http://opensource.org/licenses/mit-license.php">http://opensource.org/licenses/mit-license.php</a>
fakeroot	<a href="http://www.gnu.org/licenses/gpl.html">http://www.gnu.org/licenses/gpl.html</a>
linux	<a href="http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html">http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html</a>
gmp	<a href="http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html">http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html</a>
iproute2	<a href="http://www.gnu.org/licenses/gpl.html">http://www.gnu.org/licenses/gpl.html</a>
kobs-ng	<a href="http://www.gnu.org/licenses/gpl.html">http://www.gnu.org/licenses/gpl.html</a>
rsync (<3.0.0)	<a href="http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html">http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html</a>
rsync (>=3.0.0)	<a href="http://www.gnu.org/licenses/gpl.html">http://www.gnu.org/licenses/gpl.html</a>
uClibc	<a href="http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html">http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html</a>
wireless_tools	<a href="http://www.gnu.org/licenses/gpl.html">http://www.gnu.org/licenses/gpl.html</a>
wpa_supplicant	<a href="http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause">http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause</a>
imx-bootlets	<a href="http://www.gnu.org/licenses/gpl.html">http://www.gnu.org/licenses/gpl.html</a>
Crypto++	<a href="http://www.cryptopp.com/License.txt">http://www.cryptopp.com/License.txt</a>
libresample	<a href="http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html">http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html</a>
libjpeg-turbo	<a href="http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause">http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause</a>

オープンソースコンポーネント	オープンソースライセンス
acpid	<a href="http://www.gnu.org/licenses/gpl.html">http://www.gnu.org/licenses/gpl.html</a>
avahi	<a href="http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html">http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html</a>
coreutils	<a href="http://www.gnu.org/licenses/gpl.html">http://www.gnu.org/licenses/gpl.html</a>
crda	<a href="http://opensource.org/licenses/ISC">http://opensource.org/licenses/ISC</a>
cron	<a href="http://opensource.org/licenses/ISC">http://opensource.org/licenses/ISC</a>
dbus	<a href="http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html">http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html</a>
dhcpcd	<a href="http://opensource.org/licenses/ISC">http://opensource.org/licenses/ISC</a>
dmidecode	<a href="http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html">http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html</a>
e2fsprogs	<a href="http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html">http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html</a>
eglibc	<a href="http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html">http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html</a>
ethtool	<a href="http://www.gnu.org/licenses/gpl.html">http://www.gnu.org/licenses/gpl.html</a>
gdbserver	<a href="http://www.gnu.org/licenses/gpl.html">http://www.gnu.org/licenses/gpl.html</a>
grub	<a href="http://www.gnu.org/licenses/gpl.html">http://www.gnu.org/licenses/gpl.html</a>
gststreamer	<a href="http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html">http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html</a>
hdparm	<a href="http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause">http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause</a>
hostapd	<a href="http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause">http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause</a>
i2c-tools	<a href="http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html">http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html</a>
iftop	<a href="http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html">http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html</a>
iperf	<a href="http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause">http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause</a>
iptables	<a href="http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html">http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html</a>
iw	<a href="http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause">http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause</a>
acl	<a href="http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html">http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html</a>
attr	<a href="http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html">http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html</a>
libarchive	<a href="http://opensource.org/licenses/bsd-license.php">http://opensource.org/licenses/bsd-license.php</a>
libav	<a href="http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html">http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html</a>
libcap2	<a href="http://www.gnu.org/licenses/gpl.html">http://www.gnu.org/licenses/gpl.html</a>
libdaemon0	<a href="http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html">http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html</a>
libdrm2	<a href="http://opensource.org/licenses/MIT">http://opensource.org/licenses/MIT</a>

オープンソースコンポーネント	オープンソースライセンス
libexpat1	<a href="http://opensource.org/licenses/MIT">http://opensource.org/licenses/MIT</a>
libfontconfig1	<a href="http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause">http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause</a>
libfontenc1	<a href="http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause">http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause</a>
freetype	<a href="http://freetype.sourceforge.net/FTL.TXT">http://freetype.sourceforge.net/FTL.TXT</a> <a href="http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html">http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html</a>
libgcc1	<a href="http://www.gnu.org/licenses/gpl.html">http://www.gnu.org/licenses/gpl.html</a>
libgcrypt11	<a href="http://www.gnu.org/licenses/gpl.html">http://www.gnu.org/licenses/gpl.html</a> <a href="http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html">http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html</a> <a href="http://www.gnu.org/copyleft/fdl.html">http://www.gnu.org/copyleft/fdl.html</a>
libglib-2	<a href="http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html">http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html</a>
libgnutls26	<a href="http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html">http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html</a>
libgpg-error0	<a href="http://www.gnu.org/licenses/gpl.html">http://www.gnu.org/licenses/gpl.html</a> <a href="http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html">http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html</a> <a href="http://www.gnu.org/copyleft/fdl.html">http://www.gnu.org/copyleft/fdl.html</a>
libjpeg8	BSD に類似したライセンス
libnl2	<a href="http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html">http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html</a>
libnss-mdns	<a href="http://www.gnu.org/licenses/gpl.html">http://www.gnu.org/licenses/gpl.html</a>
libpam	<a href="http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html">http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html</a>
libpcap	<a href="http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause">http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause</a>
libpcre0	<a href="http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause">http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause</a>
libpixman-1-0	<a href="http://changelogs.ubuntu.com/changelogs/pool/main/p/pixman/pixman_0.10.0-0ubuntu1/libpixman-1-0.copyright">http://changelogs.ubuntu.com/changelogs/pool/main/p/pixman/pixman_0.10.0-0ubuntu1/libpixman-1-0.copyright</a>
libpng12-0	<a href="http://www.libpng.org/pub/png/src/libpng-LICENSE.txt">http://www.libpng.org/pub/png/src/libpng-LICENSE.txt</a>
libpopt0	<a href="http://opensource.org/licenses/MIT">http://opensource.org/licenses/MIT</a>
libsm6	<a href="http://metadata.ftp-master.debian.org/changelogs//main/libs/libsm/libsm_1.2.2-1_copyright">http://metadata.ftp-master.debian.org/changelogs//main/libs/libsm/libsm_1.2.2-1_copyright</a>
libstdc++6	<a href="http://www.gnu.org/licenses/gpl.html">http://www.gnu.org/licenses/gpl.html</a>
libtalloc2	<a href="http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html">http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html</a>
libusb	<a href="http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html">http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html</a>
libxml2	<a href="http://opensource.org/licenses/MIT">http://opensource.org/licenses/MIT</a>
libz1	ライセンスフリー
lighttpd	<a href="http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause">http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause</a>
lmsensors	<a href="http://www.gnu.org/licenses/gpl.html">http://www.gnu.org/licenses/gpl.html</a>

オープンソースコンポーネント	オープンソースライセンス
logrotate	<a href="http://www.gnu.org/licenses/gpl.html">http://www.gnu.org/licenses/gpl.html</a>
makedevs	<a href="http://www.gnu.org/licenses/gpl.html">http://www.gnu.org/licenses/gpl.html</a>
memtest86plus	<a href="http://www.gnu.org/licenses/gpl.html">http://www.gnu.org/licenses/gpl.html</a>
mesa	<a href="http://opensource.org/licenses/MIT">http://opensource.org/licenses/MIT</a>
module-init-tools	<a href="http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html">http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html</a>
modutils	<a href="http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html">http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html</a>
monit	<a href="http://www.gnu.org/licenses/gpl.html">http://www.gnu.org/licenses/gpl.html</a>
ncurses	<a href="http://opensource.org/licenses/MIT">http://opensource.org/licenses/MIT</a>
netbase	<a href="http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html">http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html</a>
openssh-sftp-server	<a href="http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause">http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause</a>
openssl	<a href="http://www.openssl.org/source/license.html">http://www.openssl.org/source/license.html</a>
opkg	<a href="http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html">http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html</a>
pciutils	<a href="http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html">http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html</a>
perl	<a href="http://perldoc.perl.org/perlartistic.html">http://perldoc.perl.org/perlartistic.html</a> <a href="http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-1.0.html">http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-1.0.html</a>
php	<a href="http://www.php.net/license/3_01.txt">http://www.php.net/license/3_01.txt</a>
procps	<a href="http://www.gnu.org/licenses/gpl.html">http://www.gnu.org/licenses/gpl.html</a>
qt	<a href="http://doc.qt.io/qt-5/lgpl.html">http://doc.qt.io/qt-5/lgpl.html</a>
read-edid	ライセンスフリー
rockbox-imxtools	<a href="http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html">http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html</a>
rsyslog	<a href="http://www.gnu.org/licenses/gpl.html">http://www.gnu.org/licenses/gpl.html</a>
splashutils	<a href="http://www.gnu.org/licenses/gpl.html">http://www.gnu.org/licenses/gpl.html</a>
sscep	<a href="https://github.com/cernnanny/sscep/blob/master/COPYRIGHT">https://github.com/cernnanny/sscep/blob/master/COPYRIGHT</a>
strace	<a href="http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause">http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause</a>
sysfsutils	<a href="http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html">http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html</a>
sysvinit	<a href="http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html">http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html</a>
tcpdump	<a href="http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause">http://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause</a>
ttf-arphic-uming	<a href="http://ftp.gnu.org/non-gnu/chinese-fonts-truetype/LICENSE">http://ftp.gnu.org/non-gnu/chinese-fonts-truetype/LICENSE</a>
ttf-dejavu-common	<a href="http://dejavu-fonts.org/wiki/License">http://dejavu-fonts.org/wiki/License</a>

オープンソースコンポーネント	オープンソースライセンス
ttf-dejavu-sans-mono	<a href="http://dejavu-fonts.org/wiki/License">http://dejavu-fonts.org/wiki/License</a>
ttf-dejavu-sans	<a href="http://dejavu-fonts.org/wiki/License">http://dejavu-fonts.org/wiki/License</a>
ttf-sazanami-gothic	<a href="https://osdn.jp/cvs/view/efont/sazanami/README">https://osdn.jp/cvs/view/efont/sazanami/README</a> <a href="http://metadata.ftp-master.debian.org/changelogs//main/t/ttf-sazanami/ttf-sazanami_20040629-8_copyright">http://metadata.ftp-master.debian.org/changelogs//main/t/ttf-sazanami/ttf-sazanami_20040629-8_copyright</a> (translation)
ttf-sazanami-mincho	<a href="https://osdn.jp/cvs/view/efont/sazanami/README">https://osdn.jp/cvs/view/efont/sazanami/README</a> <a href="http://metadata.ftp-master.debian.org/changelogs//main/t/ttf-sazanami/ttf-sazanami_20040629-8_copyright">http://metadata.ftp-master.debian.org/changelogs//main/t/ttf-sazanami/ttf-sazanami_20040629-8_copyright</a> (translation)
ttf-un-fonts	<a href="http://www.gnu.org/licenses/gpl.txt">http://www.gnu.org/licenses/gpl.txt</a>
udev	<a href="http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html">http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html</a>
update-modules	<a href="http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html">http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html</a>
update-rc	<a href="http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html">http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html</a>
usbutils	<a href="http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html">http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html</a>
util-linux-ng	<a href="http://www.gnu.org/licenses/gpl.html">http://www.gnu.org/licenses/gpl.html</a>
xserver-xorg	<a href="http://opensource.org/licenses/MIT">http://opensource.org/licenses/MIT</a>
zeroconf	<a href="http://www.gnu.org/licenses/gpl.html">http://www.gnu.org/licenses/gpl.html</a>
node.js	<a href="https://raw.githubusercontent.com/joyent/node/v0.10.26/LICENSE">https://raw.githubusercontent.com/joyent/node/v0.10.26/LICENSE</a>
express	<a href="http://opensource.org/licenses/MIT">http://opensource.org/licenses/MIT</a>
passport	<a href="http://opensource.org/licenses/MIT">http://opensource.org/licenses/MIT</a>
passport-http	<a href="http://opensource.org/licenses/MIT">http://opensource.org/licenses/MIT</a>
libXtst	<a href="http://opensource.org/licenses/MIT">http://opensource.org/licenses/MIT</a>
libX11	<a href="http://opensource.org/licenses/MIT">http://opensource.org/licenses/MIT</a>
libXfixes	<a href="http://opensource.org/licenses/MIT">http://opensource.org/licenses/MIT</a>
libswscale	<a href="http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html">http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html</a>
libXinerama	<a href="http://opensource.org/licenses/MIT">http://opensource.org/licenses/MIT</a>
libXdamage	<a href="http://opensource.org/licenses/MIT">http://opensource.org/licenses/MIT</a>
libNotify	<a href="https://wiki.gnome.org/FoundationBoard/Resources/LicensingAgreement">https://wiki.gnome.org/FoundationBoard/Resources/LicensingAgreement</a>
libXext	<a href="http://opensource.org/licenses/MIT">http://opensource.org/licenses/MIT</a>
libavutil	<a href="http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html">http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html</a>
libXrender	<a href="http://opensource.org/licenses/MIT">http://opensource.org/licenses/MIT</a>
FFmpeg	<a href="http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html">http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html</a>

オープンソースコンポーネント	オープンソースライセンス
libva	Copyright (c) 2011, Advanced Micro Devices, Inc. All rights reserved.
xvba-video	<a href="http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html">http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html</a>

## 商標

本書に記載されているブランド名と製品名は、各所有者の商標、登録商標、または著作権である場合があります。これらのブランド名および製品名は、いずれも説明上、または例として挙げたものであり、その製品やメーカーを宣伝するものではありません。

## JA version - Guarantee and Compensation

Barco provides a guarantee relating to perfect manufacturing as part of the legally stipulated terms of guarantee. On receipt, the purchaser must immediately inspect all delivered goods for damage incurred during transport, as well as for material and manufacturing faults Barco must be informed immediately in writing of any complaints.

The period of guarantee begins on the date of transfer of risks, in the case of special systems and software on the date of commissioning, at latest 30 days after the transfer of risks. In the event of justified notice of complaint, Barco can repair the fault or provide a replacement at its own discretion within an appropriate period. If this measure proves to be impossible or unsuccessful, the purchaser can demand a reduction in the purchase price or cancellation of the contract (redhibition). All other claims, in particular those relating to compensation for direct or indirect damage, and also damage attributed to the operation of software as well as to other services provided by Barco, being a component of the system or independent service, will be deemed invalid provided the damage is not proven to be attributed to the absence of properties guaranteed in writing or due to the intent or gross negligence or part of Barco.

If the purchaser or a third party carries out modifications or repairs on good delivered by Barco, or if the goods are handled incorrectly, in particular if the systems are commissioned operated incorrectly or if, after the transfer of risks, the goods are subject to influences not agreed upon in the contract, all guarantee claims of the purchaser will be rendered invalid. Not included in the guarantee coverage are system failures which are attributed to programs or special electronic circuitry provided by the purchaser, e.g. interfaces. Normal wear as well as normal maintenance are not subject to the guarantee provided by Barco either.

The environmental conditions as well as the servicing and maintenance regulations specified in the this manual must be complied with by the customer.

## EN55022/CISPR22 クラス A ITE (情報技術機器)

クラス A ITE は、クラス A ITE の条件を満たし、クラス B ITE の条件を満たさない他のすべての ITE のカテゴリです。そのような機器は、販売を制限されませんが、使用説明書に下記の警告を含めなければなりません:

**警告:** これはクラス A 製品です。国内で使用する場合、この製品は無線干渉を起こす可能性があり、その場合にはユーザーは適切な措置を講じることを求められます。

## アメリカ連邦通信委員会 (FCC) の干渉に関する宣言

製品の準拠を管轄する当事者による明示的な承認を受けずに変更または修正を行った場合、ユーザーはこの装置を操作する権利を失う場合があるので注意してください。

この装置は、FCC 規則の第 15 章に準じてテストが行われ、デジタル デバイスのクラス A の制限に準拠することが確認されています。これらの制限は、機器が商業的環境で使用される際の妨害からの適切な保護を目的として確立されました。この機器は無線エネルギーを生成、利用し、発散することがあるため、操作マニュアルにしたがって取り付け、使用が行われない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす場合があります。住宅地での本機器の使用は、有害な干渉を生じる可能性が高く、この場合には、ユーザーが自費で干渉を是正する必要があります。

装置の電源をオフ/オンにしてこの機器によってラジオまたは通信サービスの受信に干渉が生じていると判断された場合、次のいずれかの方法で干渉を修正することを推奨します。

- 受信アンテナの配置を変えるか、または移動する。
- 装置と受信機の間隔を広げる。
- 受信機が接続されているサーキットのコンセントと別のコンセントに装置をつなぐ。
- 販売店またはしかるべき経験を有するラジオ/テレビの技術者に相談する。

本装置はテスト済みで、FCC 法規の Part 15 の制限に準拠します。操作は次の 2 つの条件に基づきます:

1. この装置は有害な干渉の原因となつてはならない、そして
2. この装置は望ましくない動作の原因となる干渉を含み、受信する干渉を許容しなければならない。

FCC RF 被爆についての声明文: この装置は 802.11a モードで動作可能です。5.15 - 5.25 GHz の周波数範囲で動作する 802.11a 装置については、アメリカ国内の Mobile Satellite Services (MSS) への有害な干渉を削減するために屋内での動作が制限されます。802.11a モード (5.15 - 5.25 GHz バンド) で装置を動作することができる WIFI Access Points は、屋内での使用に限って最適化され

ます。WIFI ネットワークがこのモードで動作できる場合は、WIFI の屋内での使用を制限し、連邦規則に違反せず Mobile Satellite Services を保護してください。

Base Unit FCC ID: RYK-WPEA-121N

Button FCC ID: 2AAED-CLSBTN

## Anatel の準拠 (ブラジル)

1. Este produto está homologado pela Anatel, de acordo com os procedimentos regulamentados pela Resolução nº 242/2000, e atende aos requisitos técnicos aplicados, incluindo os limites de exposição da taxa de absorção específica referente a campos elétricos, magnéticos e eletromagnéticos de radiofrequência de acordo com as resoluções nº 303/2002 e 533/2009. Para maiores informações, consulte o site da Anatel - [www.anatel.gov.br](http://www.anatel.gov.br)
2. Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito a proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário.

## カナダ産業省 (IC) 通知

この装置はカナダ産業省のライセンス免除 RSS 規格に準拠しています。操作は次の 2 つの条件に基づきます：(1) この装置は干渉の原因となってはならない。(2) この装置は望ましくない動作の原因となる干渉を含み、受信する干渉を許容しなければならない。

## Radio Frequency (RF) 放射情報

Barco ワイヤレス装置の放射出力電源は、カナダ産業省 (IC) ラジオ周波数放射制限以下です。Barco ワイヤレス装置は、通常の操作中に人が接触する可能性を最小限にする方法で使用する必要があります。

基本ユニット IC ID:IC:4104 A-AR5BHB116

Button IC ID:9393B-CLSBTN

## IC アンテナについての声明文

カナダ産業省の規則の下、このラジオ送信機は、カナダ産業省によって送信者に対して承認されているタイプおよび最大 (または少ない) 利得のアンテナを使用した場合に限って操作できます。他人へのラジオ干渉の可能性を少なくするため、アンテナのタイプとその利得が、等価等方放射電力 ( e.i.r.p. ) が問題のない通信の必要値を超えないように選択する必要があります。

このラジオ送信機 4104 A-AR5BHB116 は、最大許容利得および示された各アンテナタイプで求められるアンテナインピーダンスで、以下にリストしたアンテナタイプで操作することがカナダ産業省によって承認されています。アンテナタイプはこのリストには含まれず、そのタイプに示された最大利得を超える利得を持つことは、この装置の使用では厳格に禁止されています。

タイプ:ダイポール

最大ピーク利得:2 dBi

インピーダンス:50 Ohm

## Canada, avis d'Industry Canada (IC)

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence.L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes :(1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

## Informations concernant l'exposition aux fréquences radio (RF)

La puissance de sortie émise par l'appareil de sans fil Barco est inférieure à la limite d'exposition aux fréquences radio d'Industry Canada (IC).Utilisez l'appareil de sans fil Barco de façon à minimiser les contacts humains lors du fonctionnement normal.

IC ID Unité de Base:4104 A-AR5BHB116

IC ID Button :9393B-CLSBTN

## Déclaration d'antenne d'Industrie Canada (IC)

Conformément à la réglementation d'Industrie Canada, le présent émetteur radio peut fonctionner avec une antenne d'un type et d'un gain maximal (ou inférieur) approuvé pour l'émetteur par Industrie Canada.Dans le but de réduire les risques de brouillage radioélectrique à l'intention des autres utilisateurs, il faut choisir le type d'antenne et son gain de sorte que la puissance isotrope rayonnée équivalente (p.i.r.e.) ne dépasse pas l'intensité nécessaire à l'établissement d'une communication satisfaisante.

Le présent émetteur radio 4104 A-AR5BHB116 a été approuvé par Industrie Canada pour fonctionner avec les types d'antenne énumérés ci-dessous et ayant un gain admissible maximal et l'impédance requise pour chaque type d'antenne.Les types d'antenne non inclus dans cette liste, ou dont le gain est supérieur au gain maximal indiqué, sont strictement interdits pour l'exploitation de l'émetteur.

タイプ:ダイポール

Gain maximum:2 dBi

Impédance:50 Ohm

### 根據NCC低功率電波輻射性電機管理辦法 規定

第十二條	經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。
第十四條	低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。 前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電通信。 低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

底座 CCAF11LP0930T5

按鈕 CCAJ13LP1890T2

### KCC についての声明文

기본 장치	등록번호 KCC-RMM-BVY-CLICKBASE 기자재의 명칭: 무선데이터통신시스템용 무선기기 모델명: CLICKSHARE-BASE 본 기기는 내부에 인증 받은 무선모듈(인증번호: ATH-AR5BHB116)을 내장하고 있음 본 기기와 20 cm 이상 떨어져서 사용하시기 바랍니다
버튼	등록번호 KCC-CRM-BVY-CLICKBUTTON 기자재의 명칭: 특정소출력 무선기기(무선데이터통신시스템용 무선기기) 모델명: CLICKSHARE-BUTTON

사용자안내문

A급 기기 (업무용 방송통신기자재)

이 기기는 업무용(A급) 전자파적합기기로서 판매자 또는 사용자는 이 점을 주의하시기 바라며,  
가정외의 지역에서 사용하는 것을 목적으로 합니다.



# 目次

<b>1. イントロダクション</b> .....	<b>3</b>
1.1 バージョン .....	3
1.2 本ガイドについて .....	3
1.3 記号およびフォント .....	4
<b>2. ClickShare のイントロダクション</b> .....	<b>5</b>
2.1 ClickShare 製品について .....	5
2.2 Base Unit について .....	6
2.3 Button について .....	8
2.4 Tray について .....	9
2.5 モバイル装置のサポート .....	9
<b>3. 紹介</b> .....	<b>11</b>
3.1 Base Unit の電源のオン/オフ .....	11
3.2 基本的な使用方法 .....	12
3.3 高度な使用方法.....	15
3.4 iOS デバイスでの ClickShare へのリンク。 の使用方法.....	17
3.5 ClickShare および iOS デバイスを用いたスクリーンミラーリング .....	18
3.6 ユーザーインターフェイス.....	19
3.7 詳細のキャプチャ .....	20
3.8 共有デスクトップ: プライマリ - 拡張 .....	21
3.9 音声の構成 .....	23
3.10 ペアリング .....	25
<b>4. トラブルシューティング</b> .....	<b>29</b>
4.1 基本的なトラブルシューティング.....	29
<b>5. 環境情報</b> .....	<b>31</b>
5.1 廃棄に関する情報 .....	31
5.2 Rohs 指令対応.....	31
5.3 製造拠点.....	32
5.4 輸入元連絡先情報 .....	32
<b>索引</b> .....	<b>33</b>



# 1. イントロダクション

## 概要

- バージョン
- 本ガイドについて
- 記号およびフォント

## 1.1 バージョン

### 地域版

ClickShare を購入する場所によって、Base Unit およびアクセサリは地域対応しています。本マニュアルのリリース時までには、ClickShare には以下の 4 つの地域版が存在します：

- 欧州
- 北米
- 中国
- 日本



ClickShare の地域版は変更できません。つまり、購入製品を購入地域以外の地域で使用することはできません。

地域版に関する詳細は、「ClickShare 設置ガイド」(R5900004) を参照してください。

## 1.2 本ガイドについて

### 本マニュアル

部品番号	説明	レベル
R5900001	ユーザーガイド	ユーザー

### 入手可能なシステム説明書

本ガイドは、ClickShare 製品について説明した説明書セットの一部です。

ガイド	製品番号
ユーザーガイド	R5900001
クイックスタートガイド	R5900002
設置ガイド	R5900004
安全ガイド	R5900005
サービスガイド	R5900006
ボタンガイド	R5900007
ラックマウントガイド	R5900008
リサイクルマニュアル	R5900009
APIガイド	R5900018

「安全ガイド」と「クイックスタートガイド」の印刷物は、ご購入時の ClickShare の箱に同梱されています。他のマニュアルについてはオンラインで確認してください。



常に [www.barco.com/clickshare](http://www.barco.com/clickshare) の最新バージョンのマニュアルをチェックしてください。ClickShare 製品ページをクリックして、ダウンロードタブに移動します。

## 1. イントロダクション

---



ClickShare のバージョンによって、本マニュアルに記載される図の一部が異なる場合がありますが、機能には一切影響ありません。

ユーザーガイドでは ClickShare の使用方法について説明します。また、問題が発生した際のソリューションを検索できる基本的なトラブルシューティングも記載されています。

## 1.3 記号およびフォント

---

### 記号の概要

マニュアルでは次のアイコンが使用されます:

	注意
	警告
	情報、用語定義。用語についての一般情報
	メモ: では記載事項についての追加的な情報を提供します。
	ヒント: では記載事項についての追加的なアドバイスを提供します。

### フォントの概要

- ボタンは太字で表記します (例: **OK**)。
- メニュー項目は、*斜体*で表記します。
- ステップに関連する注記、ヒント、警告、注意は、*斜体*で表記します。
- 手順に関連する注記、ヒント、警告、注意は、対応するアイコンに続く 2 行の間に**太字**で表記します。

## 2. CLICKSHARE のイントロダクション

### 概要

- ClickShare 製品について
- Base Unit について
- Button について
- Tray について
- モバイル装置のサポート

### 2.1 ClickShare 製品について

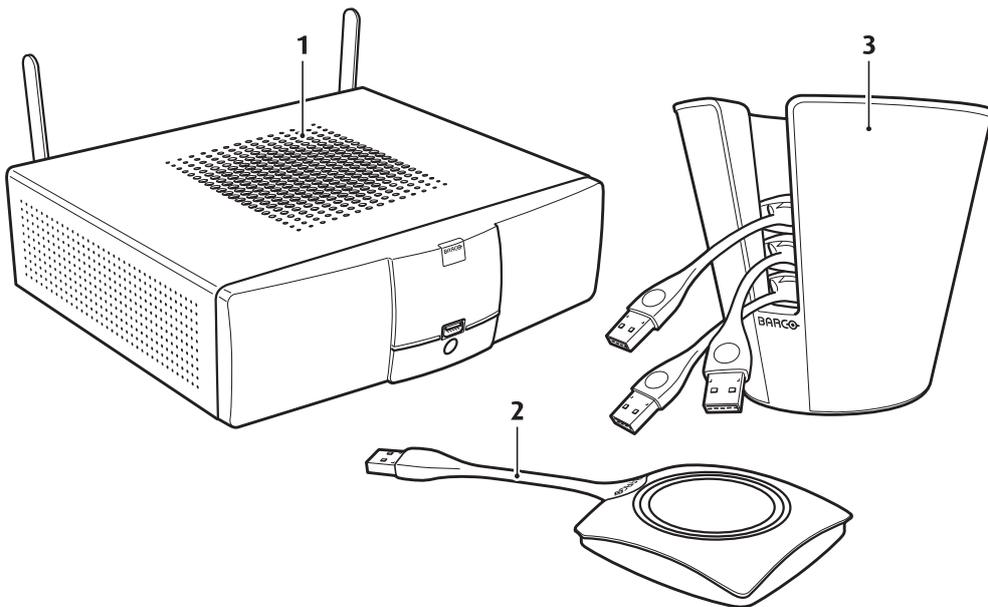
#### ClickShare セット

ClickShare を使用すると、Button を 1 度クリックするだけで会議室のビデオシステムに接続できます。このワンクリック操作は、プレゼンターがプレゼンテーションを 1 秒でスクリーンに表示することができるようにするだけでなく、会議の他の出席者がより積極的に参加できるようにもします。その結果、会議の効率性が向上し、より優れた意思決定をすることが可能です。

現在市場には 4 種類のセットがあります。各セットは、それぞれ特定の地域で販売されています。

#### コンポーネント ClickShare セット

スタンダード ClickShare セットには、Base Unit、Tray、および 4 つの Button が含まれています。製品の購入場所によって、Base Unit のソフトウェアは異なります。必要に応じて、さらに Button および Tray を購入することもできます。



画像 2-1  
ClickShare の主要コンポーネント

1	Base unit
2	Button
3	Tray

#### 同梱アクセサリ

製品を購入する国によって、以下の地域別アクセサリも ClickShare のボックスに同梱されています。

地域版	梱包物	同梱アクセサリ
R9861005EU	<ul style="list-style-type: none"> <li>• R9861006BEU</li> <li>• 4x R9861006D01</li> <li>• R9861006T01</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 電源ケーブル CEE7 および BS 1363</li> <li>• 壁/天井固定金具</li> <li>• DVI/VGA コンバータ</li> </ul>

## 2. ClickShare のイントロダクション

地域版	梱包物	同梱アクセサリ
R9861005JP	<ul style="list-style-type: none"><li>• R9861006BJP</li><li>• 4x R9861006D01</li><li>• R9861006T01</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 電源ケーブル JIS C8303</li><li>• 壁/天井固定金具</li><li>• DVI/VGA コンバータ</li></ul>
R9861005CN	<ul style="list-style-type: none"><li>• R9861006BCN</li><li>• 4x R9861006D01</li><li>• R9861006T01</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 電源ケーブル GB 2099</li><li>• 壁/天井固定金具</li><li>• DVI/VGA コンバータ</li></ul>
R9861005NA	<ul style="list-style-type: none"><li>• R9861006BNA</li><li>• 4x R9861006D01</li><li>• R9861006T01</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 電源ケーブル NEMA 5/15</li><li>• 壁/天井固定金具</li><li>• DVI/VGA コンバータ</li></ul>
R9861005WW	<ul style="list-style-type: none"><li>• R9861006BEU</li><li>• 4x R9861006D01</li><li>• R9861006T01</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 電源ケーブル CEE7 および BS 1363</li><li>• 壁/天井固定金具</li><li>• DVI/VGA コンバータ</li></ul>

お客様の国で使用できる適切な地域別アクセサリについては、現地販売代理店にお問い合わせください。

### 別売りアクセサリ: ClickShare へのリンク。

オーダー番号: R9861001



画像 2-2  
ClickShare へのリンク。

別売りの ClickShare へのリンク。を使用すると、お持ちの iPad を ClickShare と併用できます。

ケーブルまたは Apple TV を介したワイヤレスで、iPad タッチスクリーンの全コンテンツが会議室のスクリーンに転送されます

ClickShare へのリンク。キットの内容:

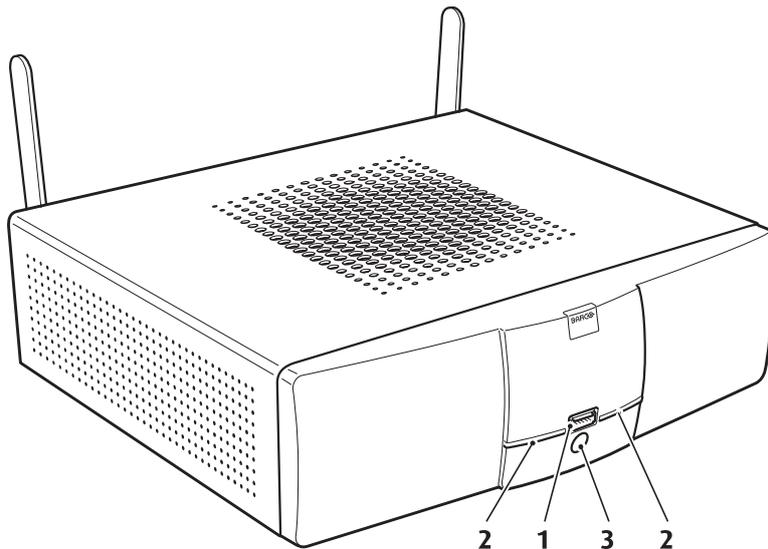
- ClickShare へのリンク。ユニット 1 台
- DVI/HDMI コンバーター 1 つ
- 電源コード 1 本
- 電源クリップ 4 つ
- USB ケーブル 1 本

## 2.2 Base Unit について

### Base Unit の機能

Base Unit は、Button からワイヤレス入力を受信し、会議室のディスプレイのコンテンツおよび会議室のオーディオシステムの音をコントロールします。

Base Unit は会議室のキャビネットの中に置いたり、会議室のテーブルの上に置いたり、壁や天井に取り付けたりすることができます。Base Unit の設置方法に関する手順は、「設置ガイド」を参照してください。



画像 2-3  
Base Unit

1	USB ポート
2	ステータス LED ストリップ
3	スタンバイボタン

表 2-3

## USB ポート

USB ポートは、Base Unit および Button のソフトウェアをアップデートする際に使用します。

Button を Base Unit に差し込むと、Button がその Base Unit にペアリングされます。Base Unit は、Button のソフトウェアおよびファームウェアが最新のものであるかどうかを確認します。最新のものでない場合は、Base Unit がソフトウェアおよび/またはファームウェアをアップデートします。

## ステータス LED ストリップ

Base Unit の前面にある LED の色は、システムをステータスを示します。

LED の動作	説明
赤色で点灯	<ul style="list-style-type: none"> <li>Button からのコンテンツを受信し、ディスプレイにストリーミングしています。</li> <li>Button のペアリングとソフトウェアアップデートが完了しました。Button を Base Unit から取り外すことができます。</li> <li>Base Unit の起動プロセスの最初のフェーズが進行中です。</li> </ul>
白色で点滅	<ul style="list-style-type: none"> <li>システムが起動中 (第 2 フェーズが進行中)</li> <li>Button のペアリングが進行中</li> <li>Base Unit のソフトウェアアップデート</li> </ul>
白色でゆっくり点滅	<ul style="list-style-type: none"> <li>スタンバイモード (ディスプレイ出力ミュート)</li> </ul>
白色で点灯	<ul style="list-style-type: none"> <li>起動状態 (ディスプレイに起動メッセージ表示)</li> <li>ペアリング完了</li> </ul>
赤色で点滅	<ul style="list-style-type: none"> <li>エラー発生</li> </ul>

## スタンバイボタン

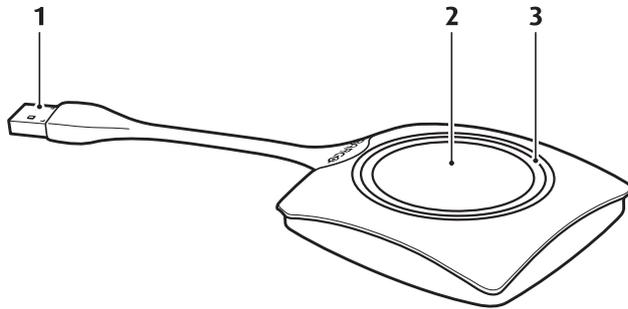
Base Unit の前面にあるボタンには、電源スイッチ機能とスタンバイ機能があります。

- システムが起動状態の場合、短く押すとシステムがスタンバイモードになります。
- システムがスタンバイモードの場合、短く押すとシステムが起動状態になります。
- システムの電源がオンの場合、長く押すとシステムがシャットダウンして電源がオフになります。
- システムがシャットダウンしている場合、長く押すか、短く押すとシステムが起動します。

## 2.3 Button について

### Button の機能

デフォルトで、ClickShare セットには 4 つの Button が付属しています。Button には 3 つの主要機能コンポーネントがあります。



画像 2-4  
Button

1	USB 端子
2	Button
3	LED リング

表 2-5



**Button を取り扱う際には注意してください。乱雑に扱くと故障の原因となる場合があります。**

### USB 端子

USB 端子を使って、Button をラップトップ (スクリーンの共有のため) または Base Unit (Button を Base Unit にペアリングするため、またはソフトウェアをアップデートするため) に差し込みます。

### Button

ラップトップのスクリーンのコンテンツを会議室のディスプレイに表示するには、Button をクリックします。会議中 Button をクリックすると、スクリーンの共有状態を切り替えることができます。

Button を 2 秒押ししたままにすると、ラップトップのスクリーンに表示されたコンテンツが会議室のスクリーンで全画面表示となり、それまで表示されていたその他のソースが非表示になります。

### LED リング

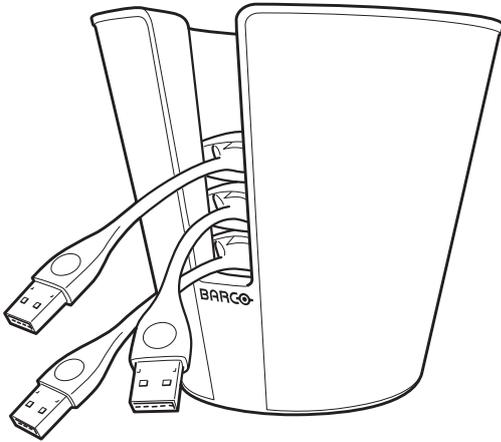
LED リングは、お使いの ClickShare の現在のステータスを示します。

LED の動作	説明
白色で点滅	<ul style="list-style-type: none"><li>ボタンはラップトップに接続され、初期化中またはユーザーが ClickShare アプリケーションを開始するのを待機中。</li><li>Base Unit にある Button のペアリング/ソフトウェアアップデート進行中。</li></ul>
白色で点灯	<ul style="list-style-type: none"><li>ClickShare 画面共有の開始準備完了。</li><li>ペアリング完了。Button を Base Unit から取り外すことができます。</li></ul>
赤色で点灯	<ul style="list-style-type: none"><li>ディスプレイで画面の共有中。</li><li>ペアリングおよびソフトウェアアップデートは完了。Button を Base Unit から取り外すことができます。</li></ul>
赤色で点滅	<ul style="list-style-type: none"><li>エラー発生。</li></ul>
オフ (消灯)	<ul style="list-style-type: none"><li>Button が USB ポートに差し込まれていないが、適切に差し込まれていない。</li><li>Button が故障している。</li><li>USB ポートまたはコンピューターが故障している。</li></ul>

## 2.4 Tray について

### Tray の機能

Tray には会議終了時に Button を格納し、それをテーブルの上に置くことができます。Tray には最大 5 つの Button を格納できます。



画像 2-5  
Tray

## 2.5 モバイル装置のサポート

### 概要

下の一覧にあるアプリは ClickShare でサポートされていて、Google Play または Apple App Store からお使いのモバイル装置にインストールできます。

ClickShare をモバイル装置で使用する前に、モバイル装置の Wi-Fi を ClickShare Base Unit の Wi-Fi と接続する必要があります。お使いのモバイル装置のユーザーガイドに記載されている指示に従ってください。

アプリ	使用デバイス	ロゴ
ClickShare Presenter	iOS Android	
MirrorOp Sender for Galaxy	Galaxy モバイル装置	



## 3. 紹介

### 概要

- Base Unit の電源のオン/オフ
- 基本的な使用方法
- 高度な使用方法
- iOS デバイスでの ClickShare へのリンク。 の使用方法
- ClickShare および iOS デバイスを用いたスクリーンミラーリング
- ユーザーインターフェイス
- 詳細のキャプチャ
- 共有デスクトップ: プライマリ - 拡張
- 音声の構成
- ペアリング

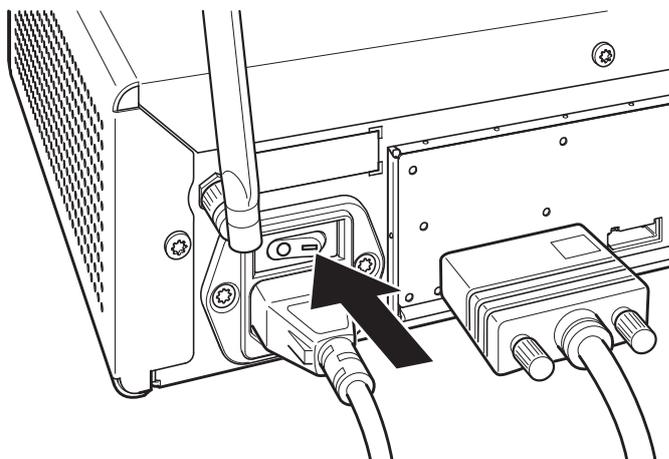
### 3.1 Base Unit の電源のオン/オフ

#### 電源モードについて

Base Unit の電源のオン/オフを切り替えたり、システムをスタンバイモードにすることができます。スタンバイモードでは、システムがディスプレイへの出力信号をミュートします。お使いのディスプレイがこれをサポートしている場合は、自動的に省電力モードに入ります。

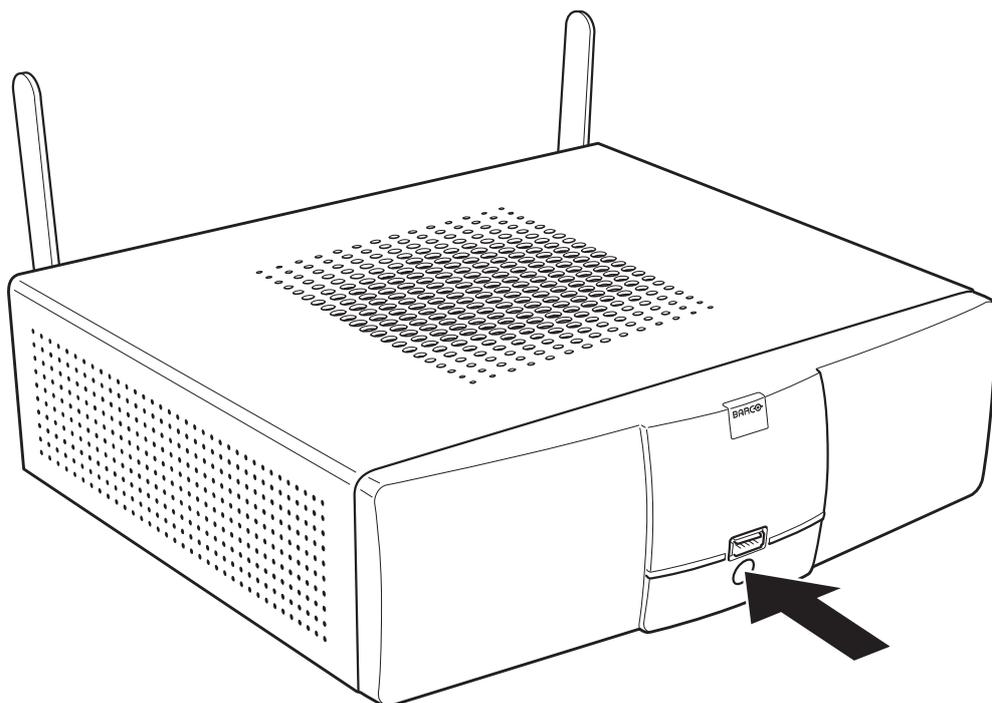
#### Base Unit の電源をオンにする、またはスタンバイモードから起動状態にするには

1. Base Unit がシャットダウンしている場合は、Base Unit の背面にあるロッカースイッチを「I」に設定します。  
画像 3-1 を参照してください。.



画像 3-1  
ロッカースイッチ

2. システムが自動的に起動しない場合は、スタンバイボタンを短く押してください。  
画像 3-2 を参照してください。.



画像 3-2  
スタンバイボタン

これでシステムの電源がオンになります。

#### Base Unit をスタンバイモードにする、または起動状態にするには

1. スタンバイボタンを短く押します。

画像 3-2 を参照してください。

**注記:** Button をラップトップに差し込んで接続すると、Base Unit は自動的にスタンバイモードから起動状態モードになります (ディスプレイ出力を有効化します)。

Button がラップトップにしばらく接続されていないと、Base Unit は自動的にスタンバイモードに入ります。

#### Base Unit をシャットダウンするには

Base Unit は以下の 2 つの方法でシャットダウンできます:

1. Base Unit がシャットダウンするまでスタンバイボタンを押す。  
画像 3-2 を参照してください。
2. Base Unit の背面にあるロッカースイッチを「0」に設定する。  
画像 3-1 を参照してください。

## 3.2 基本的な使用方法

---

### 基本的な機能

ClickShare が装備された会議室に入った際、ディスプレイが省電力モードになっていない場合は、ClickShare の壁紙がディスプレイに表示されています。壁紙のコンテンツはセットアップによって異なります。

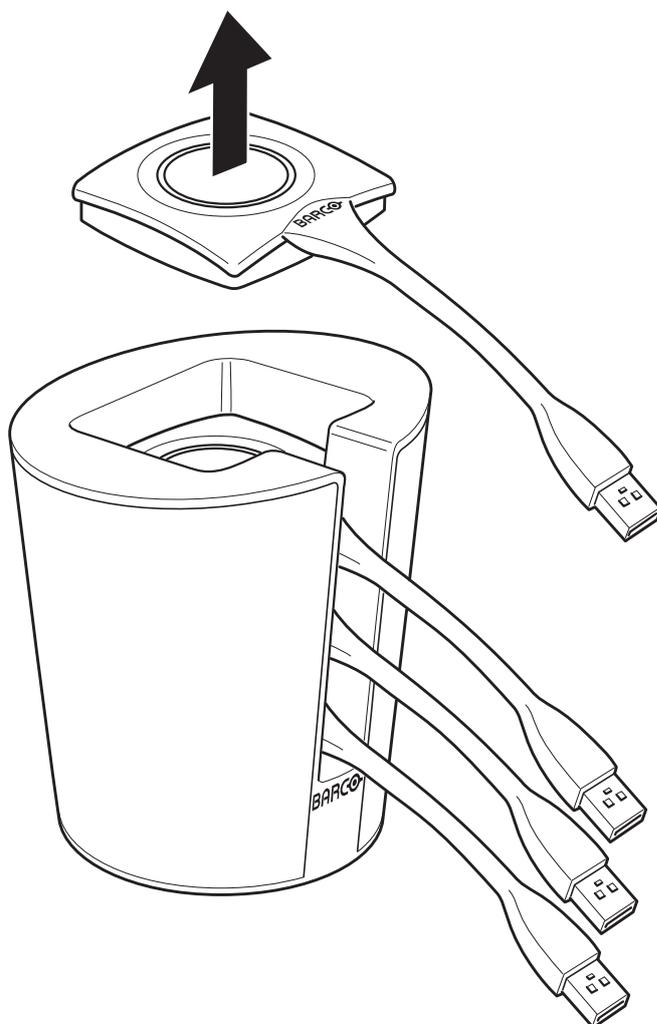


画像 3-3

ClickShare の使用を開始する手順は非常にシンプルです。

### ClickShare の使用を開始するには

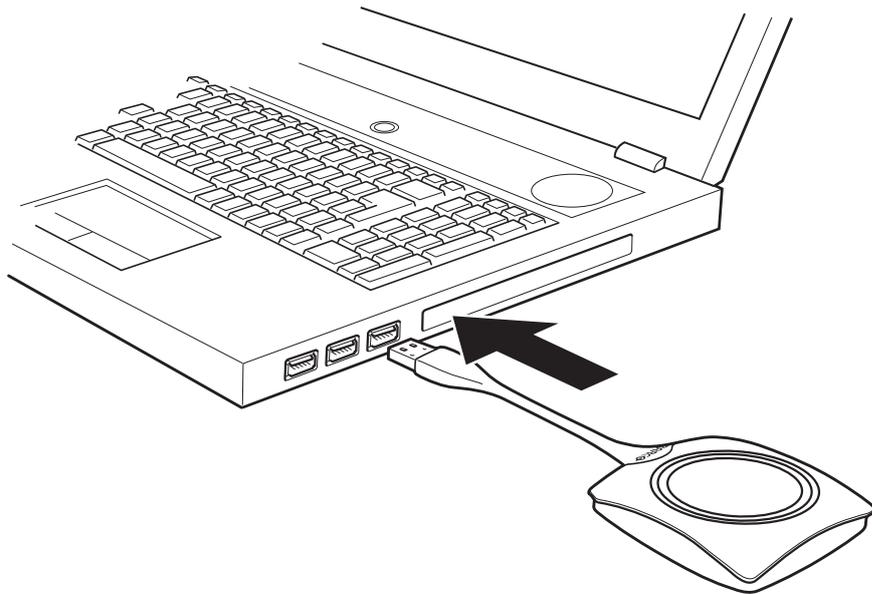
1. Button を Tray から取り出します。



画像 3-4

2. その Button をラップトップの USB ポートに挿入します。

### 3. 紹介



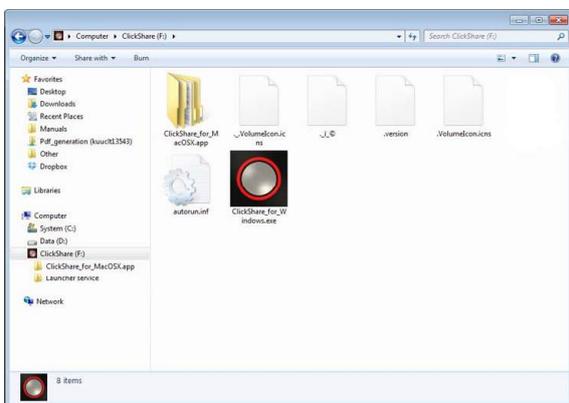
画像 3-5

Button の LED が白色で点滅し始めます。

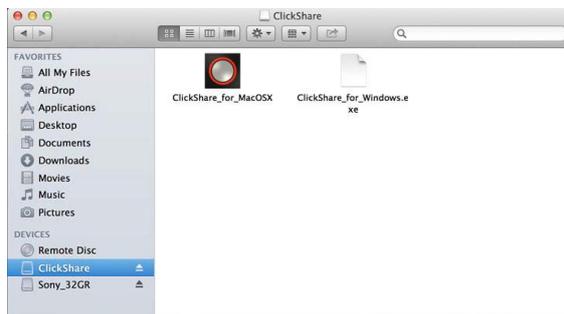
ラップトップには新しいドライブが表示されます。  
ここでは、以下の 2 つの状況が考えられます：

- ラップトップに Launcher が事前インストールされている (Base Unit または Barco の Web サイトからダウンロードしたか、貴社の IT 部門が全社規模で導入した場合)。ClickShare はすぐに使用可能です。手順 5 に進んでください。
- 何も事前にインストールされていない。手順 3 に進みます。

3. ラップトップで ClickShare ドライブを参照し、ダブルクリックします。



画像 3-6  
Windows 環境



画像 3-7  
MAC 環境

4. ClickShare アプリケーションをダブルクリックします。

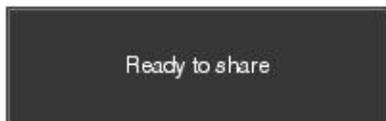


ClickShare クライアントソフトウェアが開始し、そのアイコンがシステムトレイに表示されます。

Windows コンピューターの場合: 

Macintosh の場合: 

システムを使用する準備が整うと、システムトレイのアイコンの近くにメッセージが表示されます。



画像 3-8

Button の LED が白色で点灯します。

5. スクリーンをディスプレイで共有するには、Button をクリックします。

Button の LED が赤色で点灯し、スクリーンがディスプレイに表示されます。ClickShare Base Unit で音声の有効化されている場合は、ラップトップの音声を Base Unit の音声出力でも出力できるため、会議室のオーディオシステムを使用して再生することも可能です。アイコンは手順 4 と同じ状態に戻ります。

システムトレイの ClickShare アイコンが回転し始めます。Windows コンピューターでは、アイコンが  に変化します。

コンテンツを共有しているラップトップにログオンしているユーザーの名前が、追加したコンテンツの左下隅に短時間表示されます。

ClickShare は、スクリーンのコンテンツを会議室のディスプレイの解像度に合わせて自動的に拡大/縮小します。スクリーンの縦横比はそのまま、画像の正しいバランスが維持されます。

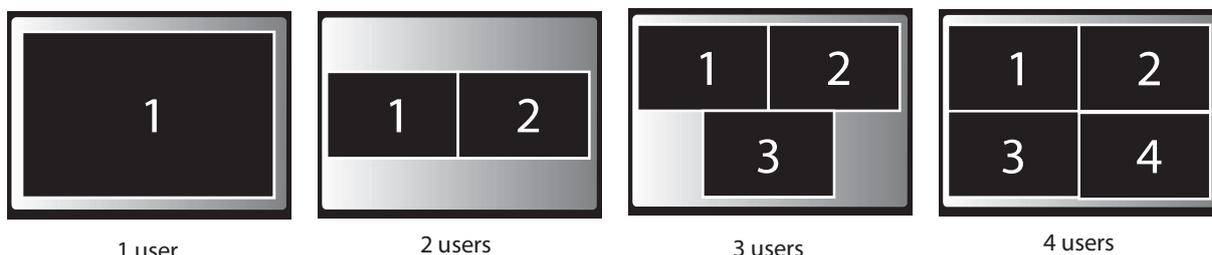
6. コンテンツをディスプレイから非表示にするには、Button を再度クリックします。  
Button の LED が白色で点灯します。
7. 会議室を出るときは、Button をラップトップから取り外して Tray に戻してください。  
ラップトップに ClickShare アプリケーションの痕跡はまったく残りません。

### 3.3 高度な使用方法

#### 高度な機能

ClickShare は、4 台までのワイヤレスソースのコンテンツ、または 3 台のワイヤレスソースのコンテンツと 1 つの ClickShare リンク (iPad の場合) を会議室のディスプレイに同時に表示できます。ワイヤレスソースとは、ClickShare Button、または ClickShare アプリを使用して共有する iPad あるいは Android デバイスのいずれかのことです。つまり、Button をクリックしたり、ClickShare アプリで仮想ボタンをクリックしたり、ClickShare リンクを使用して iOS デバイス接続することで、会議室の 4 人の出席者がそれぞれのスクリーンを同時に表示できます。スクリーンは以下のように表示されます。

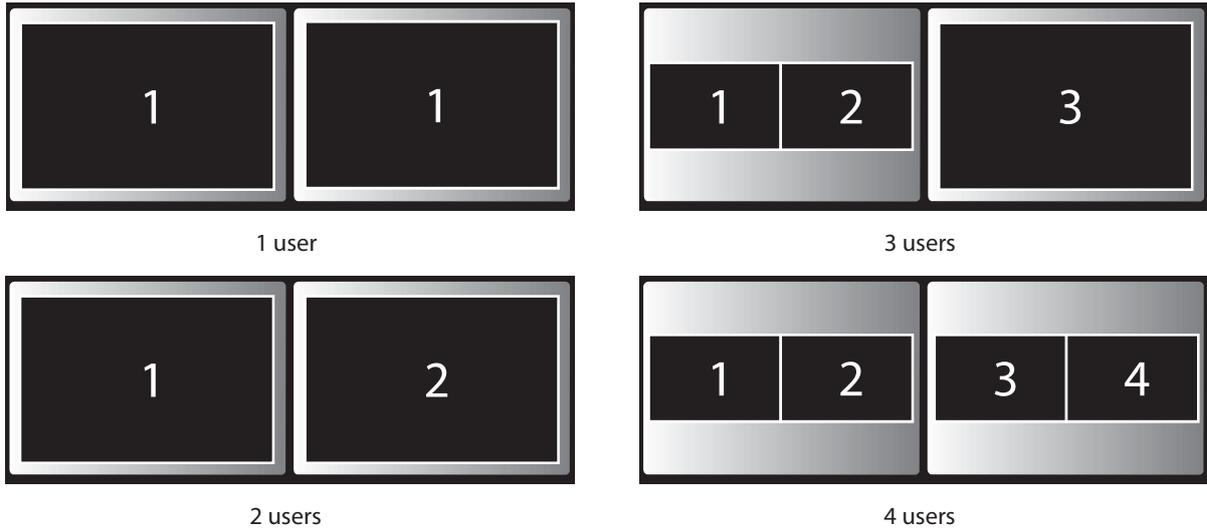
ディスプレイが 1 台の会議室の場合:



画像 3-9  
単一ディスプレイ

ディスプレイが 2 台の会議室の場合:

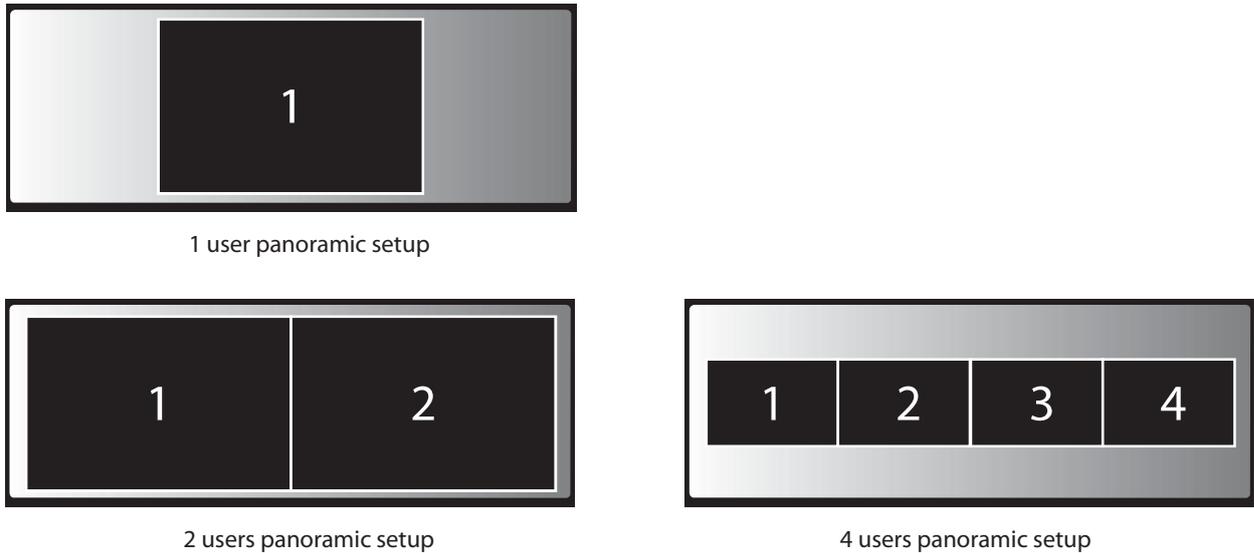
### 3. 紹介



画像 3-10  
デュアルスクリーン

1 台のディスプレイは DisplayPort をサポートする必要があります。サポートしていない場合は、DisplayPort/DVI アダプターを使用する必要があります。

単一ディスプレイ 2560x1600 パノラマセットアップの場合



画像 3-11

デュアルリンク DVI 入力を必要とするパノラマプロジェクターの場合は、Barco キット B5606021 を使用して DisplayPort をデュアルリンク DVI に変換します。



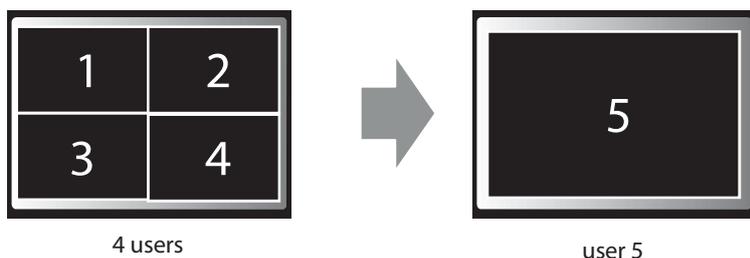
画像 3-12  
DisplayPort コンバーター

スクリーンを共有する人が 5 人いる場合、5 人目のスクリーンはブロックされます。同時に表示できる最大ユーザー数に達したことを伝えるメッセージがスクリーンに表示されます。4 人のユーザーのうち 1 人がコンテンツをディスプレイから削除するのを待つか、自分のコンテンツを全画面表示できます。その場合、表示されていた 4 つのスクリーンは削除され、自分のスクリーンが全画面表示されます。

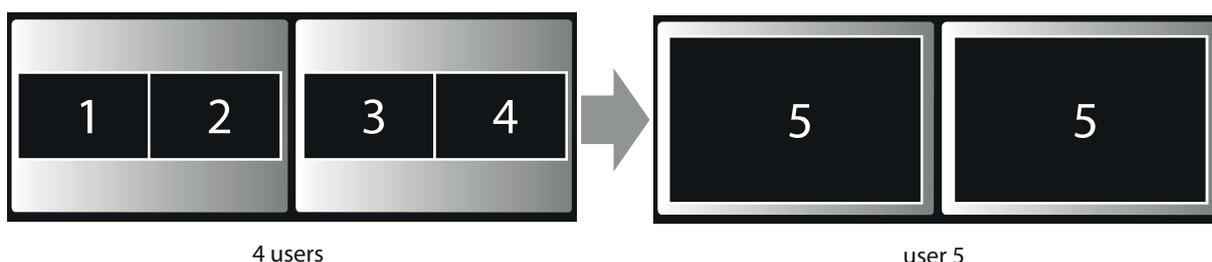
#### 自分のコンテンツをディスプレイに全画面表示するには

1. Button をクリックして 2 秒間押したままにします。

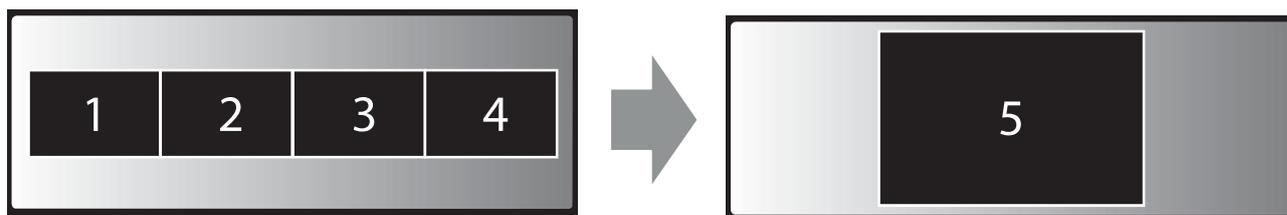
コンテンツがディスプレイに全画面表示されます。他の人がディスプレイでそれぞれのコンテンツを共有していた場合、そのスクリーンは非表示になります。その人たちの Button の LED は再度白色で点灯します。



画像 3-13  
単一ディスプレイ



画像 3-14  
デュアルディスプレイ



画像 3-15  
パノラマディスプレイ



もう一度クリックするとコンテンツは削除され、Base Unit のようこそスクリーンが再度表示されます。以前のユーザーのコンテンツはディスプレイに復元されません。

### 3.4 iOS デバイスでの ClickShare へのリンク。 の使用方法

#### iOS デバイスでの ClickShare へのリンク。 の使用方法について

iOS デバイスのタッチスクリーンに表示されるコンテンツは、会議室にある大型ディスプレイにソースの 1 つとして表示できます。iOS デバイスでスクリーンコンテンツを共有するには、会議室にオプションの ClickShare へのリンク。を設置する必要があります。iOS デバイスと併用する場合の ClickShare へのリンク。 の設置に関する詳細は、ClickShare の「設置ガイド」(R5900004) を参照してください。

#### 必要な部品

- ClickShare へのリンク。
- HDMI ケーブル
- オプション: iOS デバイスの HDMI アダプターまたは Apple TV

#### ケーブルとの接続

1. iOS デバイスの HDMI コンバーターをお使いの iOS デバイスに接続します。
2. ClickShare へのリンク。 を電源および Base Unit の背面にある USB ポートに接続します。
3. iOS デバイスの HDMI ポートを ClickShare リンク。の出力に接続します。

スクリーンのコンテンツが会議室のスクリーンに表示されます。

### 3. 紹介

#### Apple TV を使用する接続

上述の手順に従いますが、ClickShare へのリンク。入力を iOS デバイスではなく Apple TV に接続します。

1. 適切なネットワークに接続し、[AirPlay ミラーリング] を有効化して共有を開始します。セットアップ方法に関する詳細は、iOS デバイスのユーザーガイドを参照してください。

**注記:** 必ず [AirPlay ミラーリング] を使用してください。[ストリーミング] はサポートされていません。

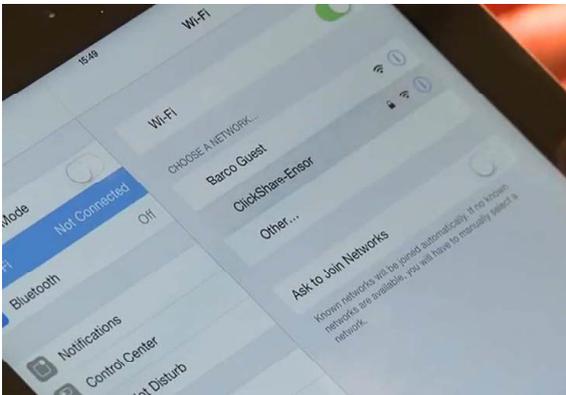
## 3.5 ClickShare および iOS デバイスを用いたスクリーンミラーリング

#### スクリーンミラーリングの iOS デバイスを追加

AirPlay を有効にすることにより、中央画面で iOS デバイスのコンテンツを表示することができます。ワイヤレスデバイスのビデオを開始する際、Airplay プロトコルが自動的にミラーリングからストリーミングに切り替えます。

#### 設定とアクティブ化の方法

1. Base Unit がスタンドアロンモードの場合、ご使用のワイヤレスデバイスを Base Unit ワイヤレスネットワークに接続します。パスワードを入力します。  
Base Unit が企業ネットワークの場合、ご使用のワイヤレスデバイスをそのネットワークに接続します。Base Unit がワイヤレスデバイスと通信可能であるか確認します。



画像 3-16  
ワイヤレスネットワークを接続

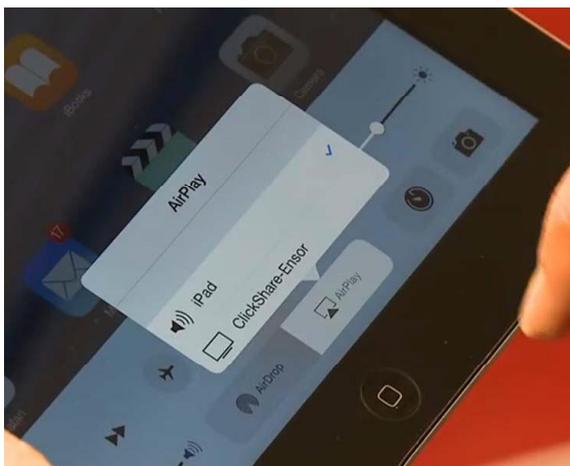
2. ワイヤレスデバイスの Airplay を有効にします。下から上にスライドさせてメニューを開き、Airplay を選択します。



画像 3-17  
Airplay を有効化

利用可能な Airplay レシーバーのリストで Base Unit が表示されます。

3. Base Unit を選択します。



画像 3-18  
Base Unit を選択

4. ミラーリングを有効にします。



画像 3-19  
ミラーリングの有効化

中央画面またはプロジェクターにワイヤレスデバイスの画面のコンテンツが表示されます。

ワイヤレスデバイスのビデオを開始する際、Airplay プロトコルが自動的にミラーリングからストリーミングに切り替えます。これにより、ご使用のワイヤレスデバイスの画面が黒にレンダリングされます。

5. ストリーミングを停止するには、メニューに戻り、Base Unit 名をクリックしてミラーリングを停止します。



画像 3-20  
ミラーリングを無効化

## 3.6 ユーザーインターフェイス

### ユーザーインターフェイスの機能

クライアントを起動すると、ClickShare アイコンがシステムトレイに表示されます。

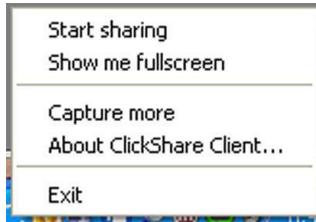
### 3. 紹介

#### ClickShare のコンテキストメニュー

コンテキストメニューに表示される内容は、オペレーティングシステムに関するものです。

1. システムトレイにある ClickShare アイコンを右クリックします。

コンテキストメニューが表示されます。



画像 3-21  
コンテキストメニュー

2. 一覧から、実行するアクションをクリックします。

クリック	目的	結果
共有の開始	スクリーンをディスプレイに表示する。	Button の LED が赤色になる。
全画面表示	スクリーンのコンテンツをディスプレイで全画面表示する。	ディスプレイに表示されていた他のユーザーのスクリーンが消える。
キャプチャモード	ビデオの詳細をより多くキャプチャする (パフォーマンスは低下) か、より少なくキャプチャする (パフォーマンスは向上)。	ビデオのパフォーマンスおよび画質を調整する。
共有されたデスクトップ (Windows 7 および Windows 8 のみ)	プライマリデスクトップまたは拡張デスクトップを選択する	選択した設定により、プライマリディスプレイまたは拡張ディスプレイが表示される。
ClickShare クライアントについて	ClickShare ソフトウェアのバージョンを調べる。	ClickShare ソフトウェアのバージョンに関する詳細が表示される。
終了	ClickShare を終了する。	ClickShare アイコンがシステムトレイから消え、Button の LED が白色で点滅し始める。

### 3.7 詳細のキャプチャ



Windows XP、Windows Vista、および Windows 7 と 8 のみ。

#### 詳細のキャプチャについて

ClickShare は、ビデオのパフォーマンスが最適になるよう調整されています。クライアントソフトウェアを開始すると、ビデオのパフォーマンスが最大限になるよう Windows 7 Aero グラスが無効化されます。ClickShare アプリケーションを終了すると、Aero グラス設定は復元されます。

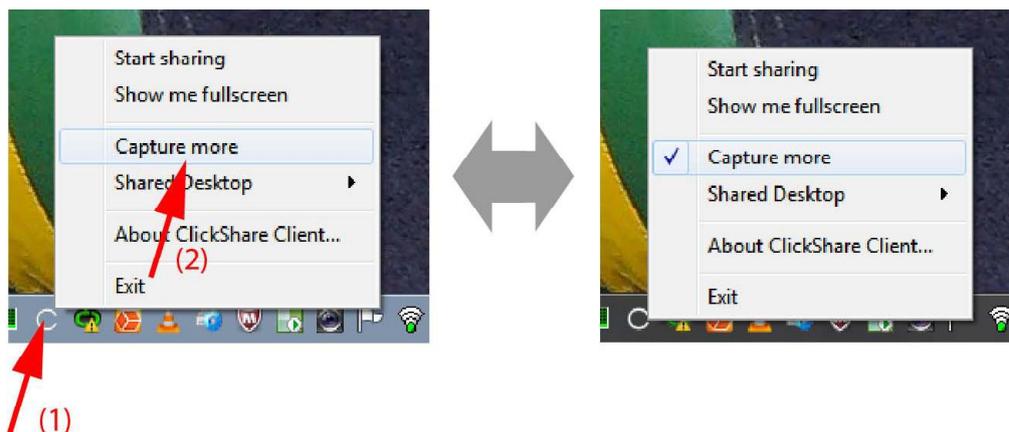
デフォルトで、透明なアルファレイヤーはキャプチャされません。そのため、一部のウィンドウが表示されなかったり、スクリーンとは異なって表示される場合があります。たとえば、オーバーレイを使用するビデオプレイヤーのコンテンツは表示されません。

[詳細のキャプチャ] を選択すると、Windows 7 Aero グラス設定が復元され、アルファレイヤーのキャプチャが有効化されます。このモードでは、ビデオのスループットが若干減少しますが、詳細をより詳しくキャプチャできます。

デフォルト設定: オフ

#### 変更方法

1. システムトレイにある ClickShare アイコン (1) を右クリックします。



画像 3-22  
キャプチャモードの変更

コンテキストメニューが開きます。

2. 詳細のキャプチャをクリックして切り替えます。

チェックボックスをオンにする:より詳しい詳細がキャプチャされますが、パフォーマンスは低下することがあります。

チェックボックスをオフにする:キャプチャは高速になりますが、一部の詳細が失われることがあります。

### 詳細のキャプチャで自動的にクライアントを開始

詳細のキャプチャモードは、Aero Glass が無効化されないようにデフォルトによって開始することが可能です。詳細のキャプチャモードをデフォルトで開始するには、ご使用のウィンドウに環境変数を導入してください。作成方法を見つけるには、担当管理者に尋ねるか、ご使用のウィンドウマニュアルを参照してください。

以下の変数を導入してください：

変数	値
CLICKSHARE_CAPTUREMOREBYDEFAULT	1

## 3.8 共有デスクトップ: プライマリ - 拡張



Windows 7 および Windows 8 のみ

### 共有デスクトップについて

選択した設定によって、プライマリスクリーンまたは拡張スクリーンがキャプチャされ、ClickShare を使用して表示されます。拡張スクリーンは、物理スクリーンである場合と仮想スクリーンである場合があります。

拡張デスクトップを使用すると、ラップトップスクリーンと会議室のディスプレイの両方を利用できます。プライマリスクリーンに表示されるプレゼンテーションメモやその他の資料は、出席者に対して表示されません。

仮想拡張スクリーンのある PC:



画像 3-23

PC に表示されたプライマリスクリーン、会議室のディスプレイに表示された拡張スクリーン。

### 3. 紹介



画像 3-24

拡張スクリーンが1つ接続されたPC。拡張スクリーンがキャプチャされ、会議室のディスプレイに表示されます。



画像 3-25

拡張スクリーンが2つ接続されたPC。最初の拡張スクリーンであるスクリーン2が常にキャプチャされ、会議室のディスプレイに表示されます。



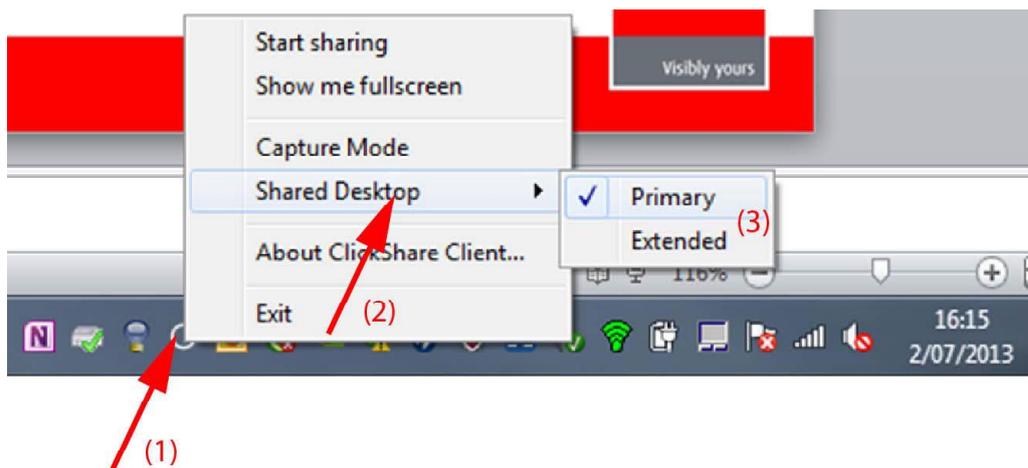
お使いのシステムが拡張デスクトップ機能をサポートしているかどうかを調べるには、**Windows キー + P**を押します。以下のポップアップがスクリーンに表示されます：



画像 3-26

#### 選択方法

1. システムトレイにある ClickShare アイコン (1) を右クリックします。



画像 3-27  
共有デスクトップの選択

コンテキストメニューが開きます。

2. [共有されたデスクトップ] (2) を選択します。
3. 目的の設定を選択します (3)。

プライマリ: プライマリ PC スクリーンが会議室のディスプレイに表示されます。

拡張: 常にセカンダリスクリーンが会議室のディスプレイに表示されます。

#### 既知の問題

- 仮想拡張デスクトップは、最近のバージョンの AMD グラフィカルドライバーの問題により、一部の Windows 7 および Windows 8 システムではサポートされていません。ドライバーを古いバージョンにダウングレードすると問題が解決されることがありますが、必ずバージョン 13.8 以上の AMD ドライバーを使用してください。

## 3.9 音声の構成

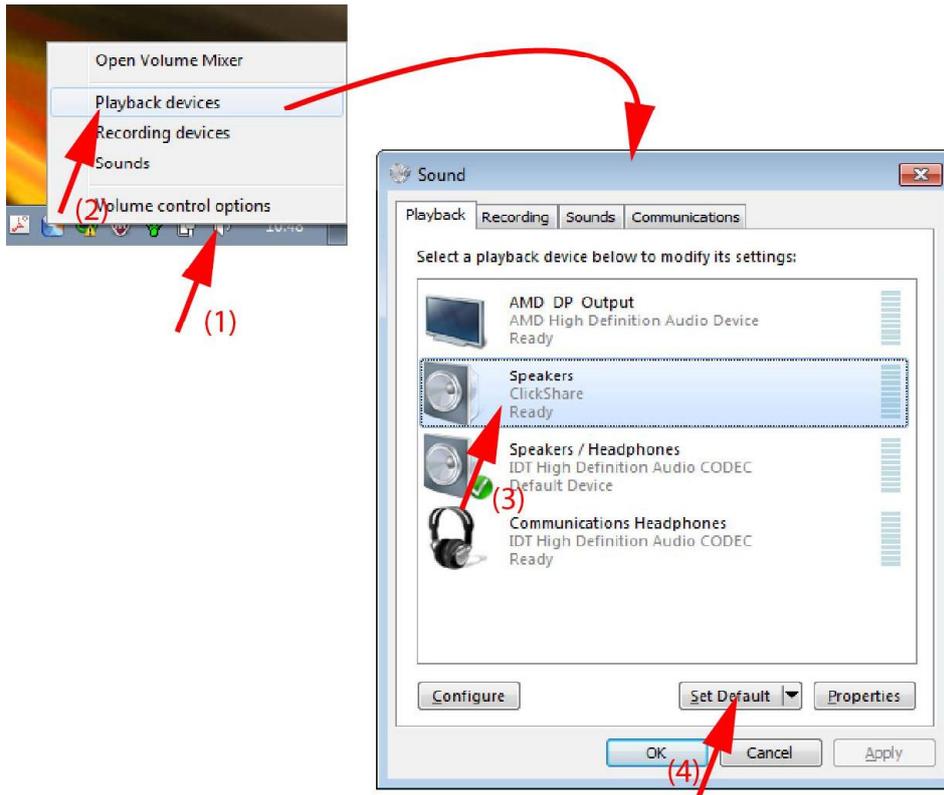
### 音声の構成

異なるユーザーからの音声信号は、Base Unit で組み合わせられ 1 つの出力信号になります。接続されたそれぞれのユーザーは、コンピューターの音声の構成を使って自分の音声信号をコントロールする必要があります。音声信号をブロードキャストしない場合は、自分のコンピューターで音声をミュートする必要があります。

一部のオペレーティングシステムでは、ClickShare をデフォルトの出力デバイスに設定する必要があります。Button を取り外すと、デフォルト設定が以前の設定に戻ります。

#### Windows 7 で ClickShare をデフォルトに設定

1. システムトレイにあるスピーカーアイコン (1) を右クリックします。

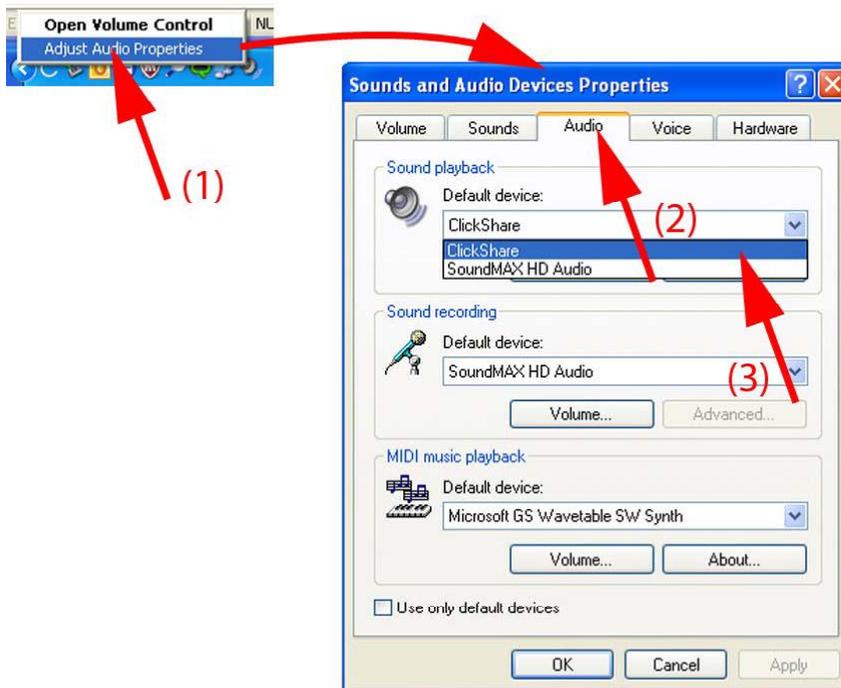


画像 3-28  
スピーカー ClickShare、デフォルト

2. [再生デバイス] (2) をクリックします。  
[サウンド] ウィンドウの [再生] タブが開きます。
3. [スピーカー ClickShare] (3) を選択して [規定値に設定] (4) をクリックします。
4. [適用] または [OK] をクリックすると、新しい設定がアクティブ化されます。

### Windows XP で ClickShare をデフォルトに設定

1. システムトレイにあるスピーカーアイコンを右クリックします。

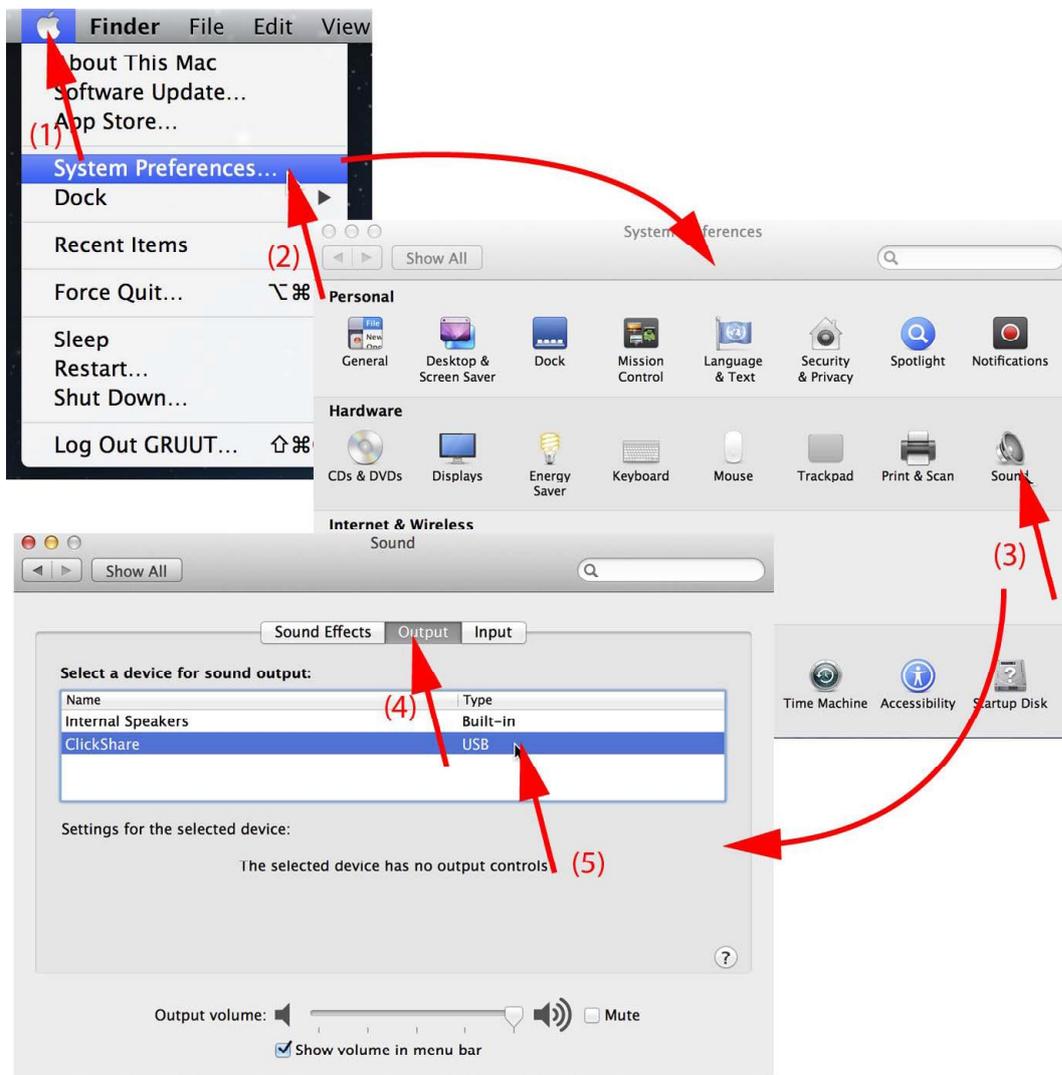


画像 3-29  
スピーカー ClickShare、デフォルト

2. [オーディオプロパティの調整] (1) をクリックします。  
[サウンドとオーディオデバイスの設定] ウィンドウが開きます。
3. [オーディオ] タブ (2) を選択します。
4. [サウンド再生] ペインのドロップダウンボックスをクリックし、[ClickShare] (3) を選択します。
5. [適用] または [OK] をクリックすると、新しい設定がアクティブ化されます。

### MAC で ClickShare をデフォルトに設定

1. メニューバーの Apple ロゴ (1) をクリックし、[システム環境設定...] (2) を選択します。



画像 3-30  
スピーカー ClickShare、デフォルト

2. [サウンド] アイコン (3) をクリックします。  
[サウンド] ウィンドウが開きます。
3. [出力] タブ (4) を選択し、ClickShare (5) をアクティブ化します。

## 3.10 ペアリング

### Button と Base Unit のペアリング

Button は、使用する前に、お使いの Base Unit に割り当てる必要があります。このプロセスをペアリングと呼びます。既定で、ClickShare セットに同梱されている 4 つの Button は、すでにその Base Unit にペアリングされています。

別に Button を購入したり、Button を別の Base Unit に割り当てる必要がある場合は、Button を (再度) ペアリングする必要があります。Base Unit のソフトウェアをバージョン 01.06 以上にアップデートすると、Button のソフトウェアは WiFi を使用して自動的にアップデートされるため、手作業によって再度ペアリングする必要はありません。Button のソフトウェアアップ

### 3. 紹介

データはバックグラウンドで実行され、ユーザーがシステムを使用している間、ユーザーに影響を与えることはありません。必要に応じて、この機能は Web インターフェイスで無効化できます。Base Unit のソフトウェアの古いバージョンにダウンロードまたはアップデートする場合は、Button を手作業でペアリングし、Button のソフトウェアをアップデートする必要があります。

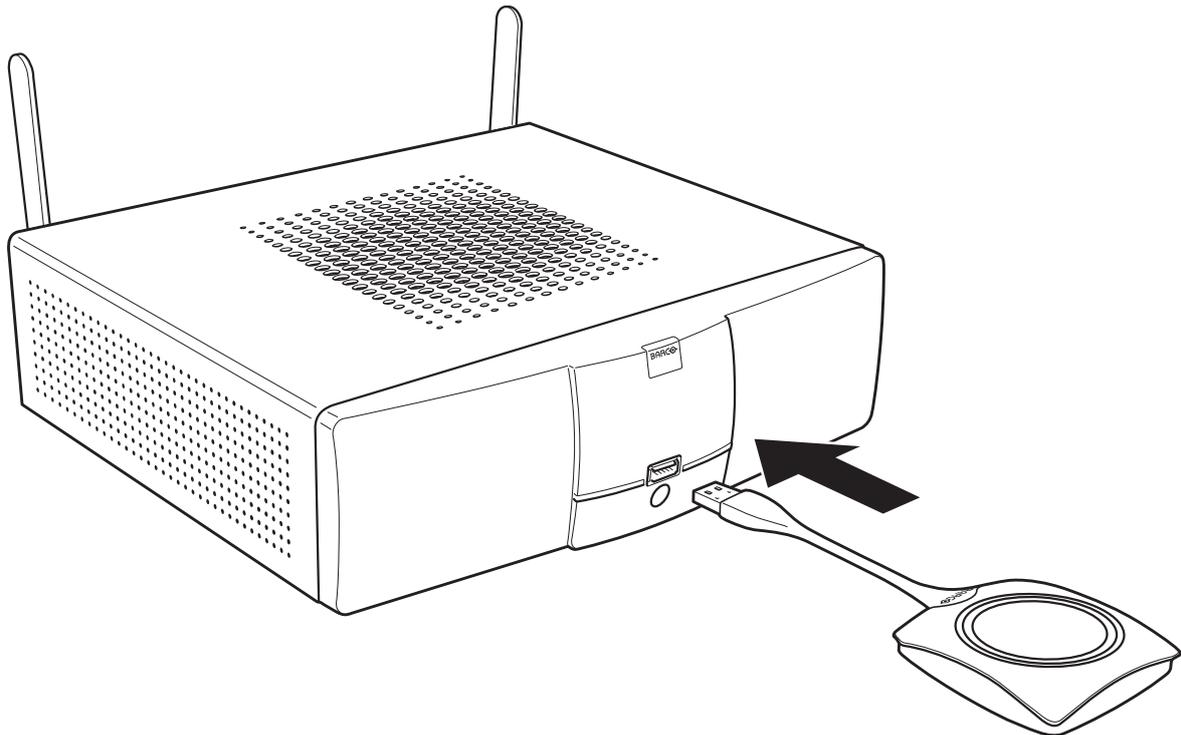


Button は、一度に 1 台の Base Unit にのみペアリングできます。

Button は、最後にペアリングした Base Unit に常に接続します。

#### Button を Base Unit にペアリングするには

1. 使用している Base Unit の前面にある USB ポートに Button を差し込みます。



画像 3-31  
Button を Base Unit に挿入

Button の LED および Base Unit の LED が両方とも白色で点滅します。これはペアリングが進行中であることを示します。

Base Unit は、Button のソフトウェアが最新のものであるかどうかを自動的に確認します。Button のソフトウェアが最新のものでない場合は、Base Unit がアップデートします。これには時間がかかる場合があります。

ペアリングおよびアップデートプロセス中、スクリーンには「Button をペアリングおよびアップデートしています。ペアリングおよびアップデート中です」というメッセージが表示されます。



画像 3-32  
ペアリングメッセージ

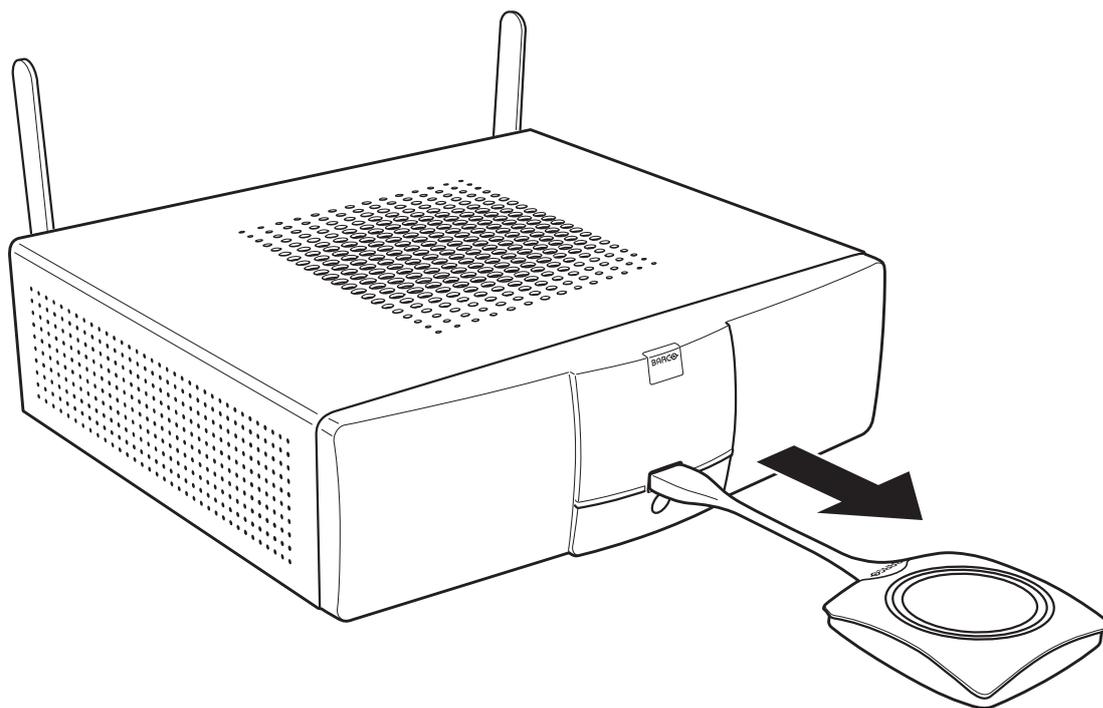
ペアリングプロセスの結果は、以下のとおり通知されます：

- LED が白色で点灯している場合、Button は Base Unit にペアリングされましたが、ソフトウェアアップデートは必要なかったことを示します。Button を Base Unit から取り外すことができます。
- LED が赤色で点灯している場合、Button は Base Unit にペアリングされ、ソフトウェアアップデートが終了したことを示します。Button を Base Unit から取り外すことができます。



画像 3-33  
ペアリング終了

2. Button を Base Unit から取り外してください。



画像 3-34  
Button を Base Unit から取り外す

これで Button を使用する準備が整いました。



## 4. トラブルシューティング

### 4.1 基本的なトラブルシューティング

#### 問題解決

この章では、ClickShare の使用中に発生する可能性のある問題の一部について解説します。それぞれの問題には、考えられる原因と解決策が付記されています。自分で問題を解決できない場合は、担当の IT 管理者にお問い合わせください。

問題	原因	解決策
Button を押してもディスプレイにスクリーンが表示されない。	ディスプレイにコンテンツを共有する 5 人目の人であるということです。同時に表示できるスクリーン数は最大 4 つです。コンピューターにメッセージが表示されます。	ClickShare の全画面表示機能を使用するには、Button をクリックして押したままにしてください。15 ページ、高度な使用方法を参照してください。
スクリーンは表示されているが、会議室のオーディオシステムで音声再生されない	ClickShare クライアントソフトウェアが稼働していない。 PC の音声信号がミュートされている Base Unit の音声が無効化されている。 会議室のオーディオシステムの電源がオンになっていない 音声を別接続している場合、音声ケーブルが接続されていない。 デフォルトのスピーカーが適切に設定されていない。 Base Unit で音声機能が有効化されていない。 Web インターフェイスで音声設定を変更した後、Button を再度ペアリングしていない	ClickShare ドライブに移動してソフトウェアを実行します。 スピーカーアイコンを右クリックし、ミュートをオフにします。 自分で Web インターフェイスを使用して該当する設定を変更するか、管理者に依頼してください。 会議室のオーディオシステムの電源をオンにします。 Base Unit (音声出力、緑色の端子) および会議室のオーディオシステム間の接続を確認します。 Button を挿入し、ClickShare スピーカーをデフォルトのスピーカーに設定します。 Base Unit の Web インターフェイスで音声機能を有効化し、ドングルを再度ペアリングします。 Button を再度ペアリングします。
コンテンツがディスプレイから非表示になり、Button の LED が白色で点滅している	ディスプレイへの接続が失われている。	ClickShare が自動的に接続の復元を試みます。復元できない場合、Button の LED が赤色で点滅し始めます。ラップトップから Button を取り外し、新しい Button を使用します。
ディスプレイにまったく何も表示されない。	ディスプレイの電源がオフになっている。 正しい入力を選択されていない。 ディスプレイケーブルが (適切に) 接続されていない。 ディスプレイが Base Unit の出力解像度を認識しないか、表示できない。 Base Unit がスタンバイモードになっている。 Base Unit の電源がオフになっている。 Button ソフトウェアが Base Unit ソフトウェアと適切に動作していない	ディスプレイの電源をオンにします。 正しい入力を選択します。 ディスプレイケーブルをディスプレイおよび Base Unit に (再度) 挿入します。 自分で Web インターフェイスを使用して該当する設定を変更するか、管理者に依頼してください。 Base Unit のスタンバイボタンを短く押すが、Button を挿入して ClickShare クライアントソフトウェアを実行します。 Base Unit の前面にある USB ポートに Button を挿入し、Button ソフトウェアを修復およびアップデートします。
ディスプレイが 2 台ある会議室の Base Unit に接続されている 2 台のラップトップのうち、1 台の画像のみが表示されている	一方のディスプレイの電源がオフになっている 一方のディスプレイケーブルが接続されていない	ディスプレイの電源をオンにします。 ディスプレイケーブルをディスプレイおよび Base Unit に (再度) 挿入します。

#### 4. トラブルシューティング

問題	原因	解決策
ラップトップに Button を挿入したが、ClickShare ドライブが表示されない。	ドライブが自動更新されていない。  ラップトップの USB ポートの接続がよくない。  Windows がすでに予約済みのドライブ文字に ClickShare ドライブを割り当てようとする	ラップトップの表示を更新してください。  <ul style="list-style-type: none"><li>• USB ポートに再度接続してください。</li><li>• 別の USB ポートを使ってください。</li><li>• ラップトップを再起動してください。</li></ul> Microsoft Windows の「ディスクの管理」を使用して、空きドライブに割り当ててください。
Windows の一部プログラムがディスプレイに表示されない。	GPU におけるオーバーレイ、3D、またはハードウェアアクセラレーションの使用。	<ul style="list-style-type: none"><li>• GPU でオーバーレイまたはハードウェアアクセラレーションを無効にしてください。</li><li>• Windows 7 では Aero グラスを無効にしてください。</li><li>• キャプチャモード</li></ul>

## 5. 環境情報

### 5.1 廃棄に関する情報

#### 廃棄に関する情報

廃電気電子機器



製品上のこのアイコンは、廃電気電子機器を統制する欧州指令 2012/19/EU に基づき、本製品がその他の一般廃棄物と共に廃棄できないことを示しています。廃棄機器を廃電気電子機器のリサイクルの指定収集場所に持ち込んで処理してください。無制御の廃棄物処理から環境または人体への危険の可能性を防止するために、その他の廃棄物からこれらのものを分離し、物的資源の持続可能な再利用を促進するために責任を持ってリサイクルしてください。

本製品のリサイクルに関する詳細情報は、地域の役所または地方自治体の廃棄物処理サービスにお問い合わせください。

詳細については、Barco ウェブ サイトを参照してください。 <http://www.barco.com/en/AboutBarco/weee>

#### 製品の電池の破棄



本製品では、一般廃棄物から分別して収集および処理する必要がある 2006/66/EC 指定の対象となる電池を使用しています。

指定した値を超える鉛 (Pb)、水銀 (Hg)、またはカドミウム (Cd) が電池に含まれる場合は、これらの化学物質のアイコンがバツ印付き車輪容器アイコンの下に表示されます。

電池の分別収集に参加することにより、適切な廃棄を行って、環境および人体に悪影響を及ぼす可能性を回避できます。

### 5.2 RoHS 指令対応

#### トルコ RoHS 指令対応



Türkiye Cumhuriyeti: AEEE Yönetmeliğine Uygundur.

[トルコ共和国:WEEE 規格準拠]

#### 中国大陸 RoHS – Chinese Mainland RoHS

根据中国大陸《电子信息产品污染控制管理办法》(也称为中国大陸RoHS)，以下部分列出了Barco产品中可能包含的有毒和/或有害物质的名称和含量。中国大陸RoHS指令包含在中国信息产业部MCV标准：“电子信息产品中有毒物质的限量要求”中。

「中国政府発布の電子情報製品の有毒有害物質の検査方法」(別名、中国本土のRoHS)に従い、Barco社製品に含まれている可能性がある有毒/有害性物質の名称と成分を以下の表に示します。中国本土のRoHSは、中国信息产业部のMCV基準、「電子情報製品の有害物質の適用要件」の項に含まれています。

零件項目(名称) 成分名	有毒有害物質或元素					
	有害物質または要素					
	鉛 (Pb)	汞 (Hg)	鎘 (Cd)	六价鉻 (Cr6+)	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
印制电路配件	x	0	x	0	0	0
プリント回路実装品						
外接電(線)纜	x	0	x	0	0	0
ケーブル						
底架	x	0	x	0	0	0
筐体						

## 5. 環境情報

電源供应器	x	0	x	0	0	0
電源装置						
文件说明书	0	0	0	0	0	0
印刷版の取扱説明書						

O: 表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 SJ/T 11363-2006 标准规定的限量要求以下。

O: この部品のすべての同質の素材に含まれるこの危険または有害物質が、SJ/T11363-2006 要件で定められる上限よりも低いことを示します。

X: 表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 SJ/T 11363-2006 标准规定的限量要求。

X: この部品のすべての同質の素材に含まれるこの危険または有害物質の少なくとも 1 つが、SJ/T113632006 要件で定められる上限よりも高いことを示します。

在中国大陆销售的相应电子信息产品 (EIP) 都必须遵照中国大陆《电子信息产品污染控制标识要求》标准贴上环保使用期限 (EFUP) 标签。Barco 产品所采用的 EFUP 标签 (请参阅实例, 徽标内部的编号用于制定产品) 基于中国大陆的《电子信息产品环保使用期限通则》标准。

中国本土で販売されている全ての電子情報製品(EIP)は、中国政府発布の「電子情報製品の有毒有害物質の検査ラベル基準」に準拠している必要があります。基準を満たしている製品には、環境に優しい使用の期限(EFUP)のロゴマークがあります。Barcoが使用するEFUPロゴ内の番号は(写真を参照)、中国政府が発布する「電子情報製品の環境に優しい使用の期限」を基にしています。



画像 5-1

### 5.3 製造拠点

#### 工場

捷普科技(上海)有限公司

上海市田林路600号

邮编: 200233

#### 製造国情報

製造国は製品自体の製品 ID ラベルに表記されています。

#### 製造年月

製造年月は製品自体の製品 ID ラベルに表記されています。

### 5.4 輸入元連絡先情報

#### 連絡先

お住まいの地域の輸入元については、Barco に直接お問い合わせいただくが、各地にある Barco のオフィスのいずれかにご連絡ください。各オフィスの連絡先情報は、Barco のウェブサイト [www.barco.com](http://www.barco.com) に記載されています。

## 索引

## ENGLISH TERMS

Base Unit 6  
 Button 8, 25  
 ペアリング 25  
 Button のペアリング 25  
 Button メニュー 21  
 共有デスクトップ 21  
 拡張 21  
 プライマリ 21  
 iOS デバイス 17  
 LED ストリップ 6  
 LED リング 8  
 Tray について 9

## あ

iOS デバイス 18  
 スクリーンミラーリング 18

## い

一般情報 3, 5-6, 8-9  
 Base Unit 6  
 Button 8  
 ClickShare 5  
 ClickShare 製品 5  
 Tray 9  
 ユーザーガイド 3  
 一般情報 ClickShare 3  
 インTRODククション 3, 5  
 ClickShare 5  
 ユーザーガイド 3

## お

音声コントロール 23

## か

環境情報 31  
 Rohs 指令対応 31  
 環境に関する情報 31  
 廃棄に関する情報 31

## き

基本情報 3  
 拠点 32  
 記号 4  
 共有デスクトップ 21  
 拡張 21  
 プライマリ 21  
 基本的な使用方法 12  
 基本的なトラブルシューティング 29

## &lt;

クライアントソフトウェア 19

## こ

高度な使用方法 15

## し

紹介 11-12, 17  
 iOS デバイス接続 17  
 紹介 18  
 iOS デバイス 18  
 スクリーンミラーリング 18  
 詳細のキャプチャ 20  
 高速 20  
 詳細 20

## す

スタンバイボタン 6  
 スタンバイモード 11

## せ

全画面表示 15  
 製造 32

## ち

地域版 3

## て

電源オフ 11  
 電源オン 11

## と

導入 4  
 記号 4  
 フォント 4  
 トラブルシューティング 29

## は

バージョン 3

## ひ

Button メニュー 20  
 詳細のキャプチャ 20  
 高速 20  
 詳細 20

## も

問題解決 29  
 モバイル装置 9  
 サポート 9

## ゆ

輸入元 32  
 ユーザーインターフェイス 19